

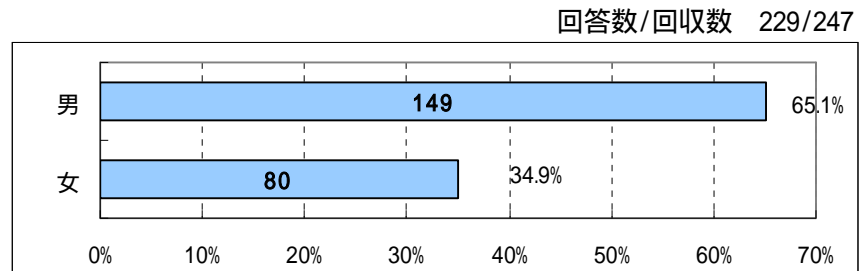
. 若者向け調査集計結果

§ . 若者向け調査集計結果

1. 回答者の属性

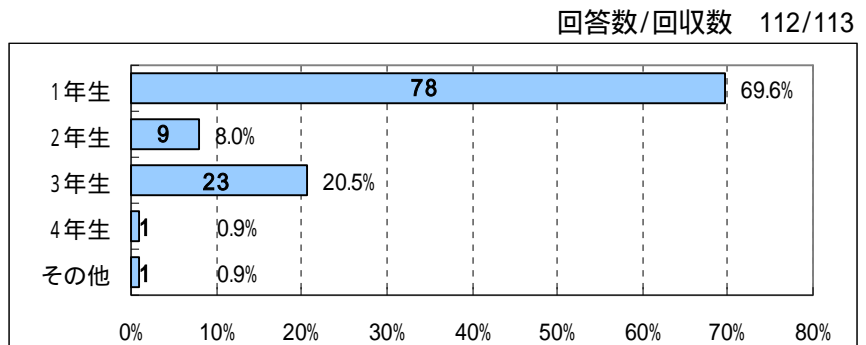
問1 はじめに、あなた自身のことについておたずねします。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。

(1) 性別について (SA)

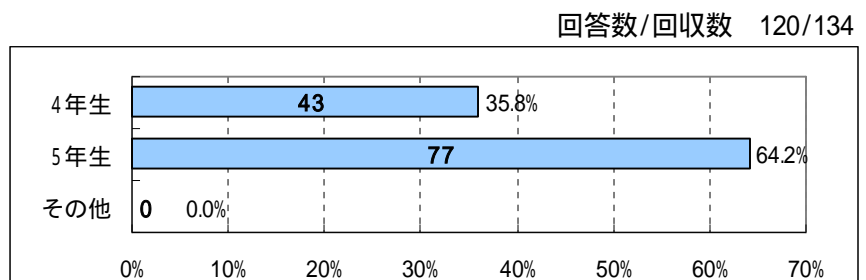


(2) 学年について (SA)

富山県立大学生



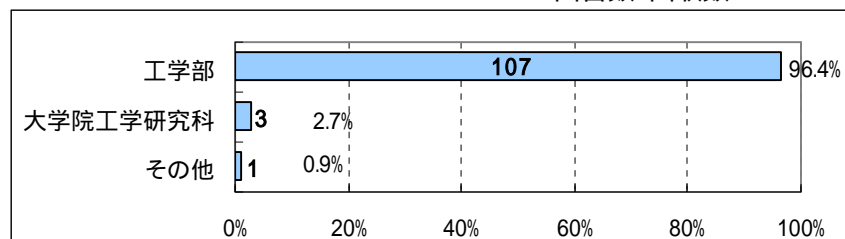
富山高等専門学校生



(3) 学部・学科について (SA)

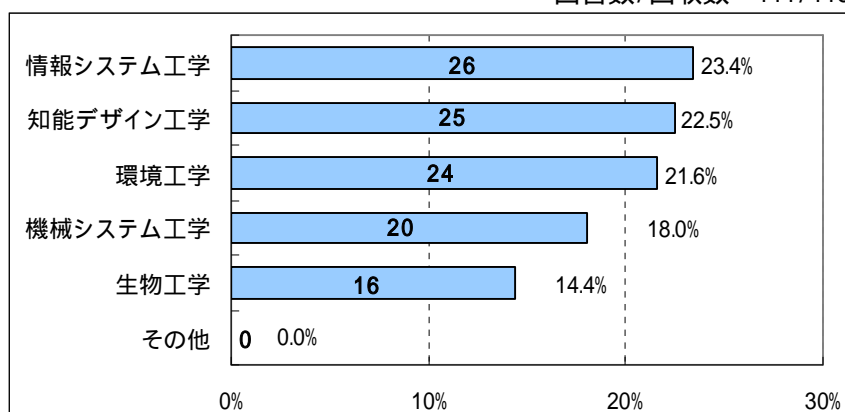
富山県立大学生 (学部)

回答数/回収数 111/113



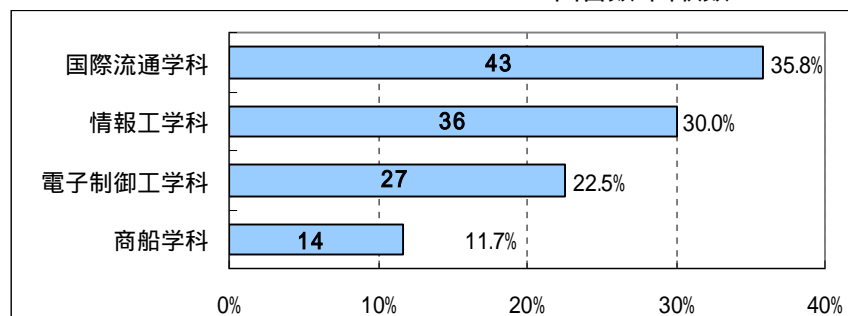
富山県立大学生 (学科)

回答数/回収数 111/113



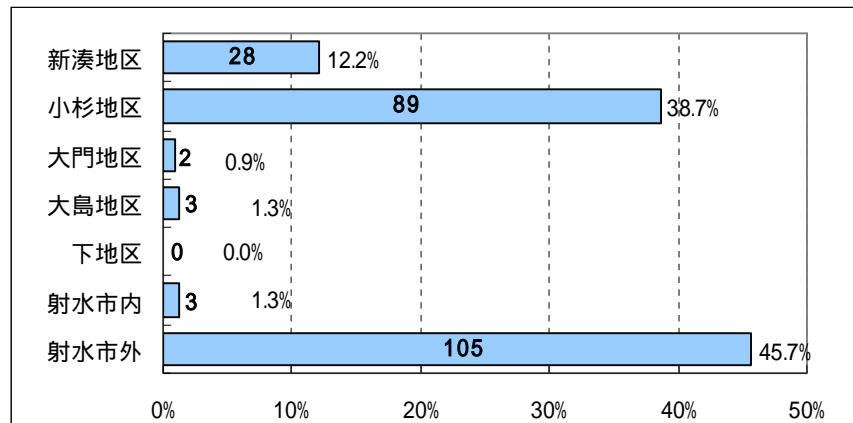
富山高等専門学校生

回答数/回収数 120/134



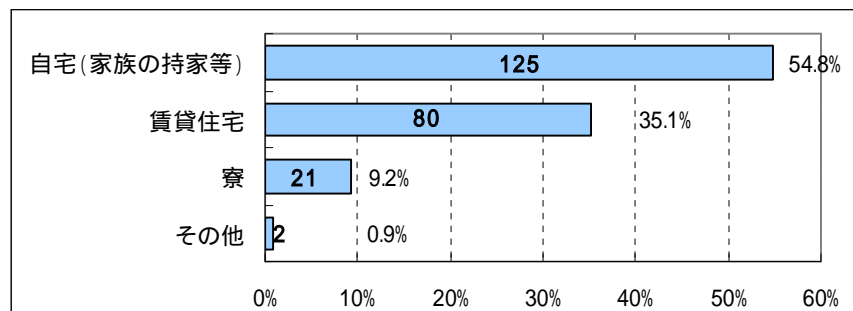
(4) 居住地について (SA)

回答数/回収数 230/247



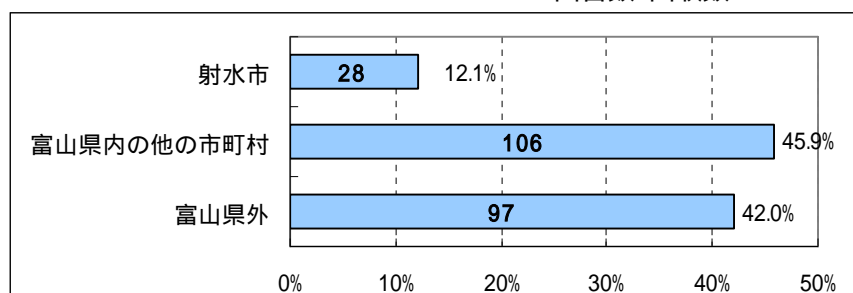
(5) 居住状況について (SA)

回答数/回収数 228/247



(6) 出身地について (SA)

回答数/回収数 231/247

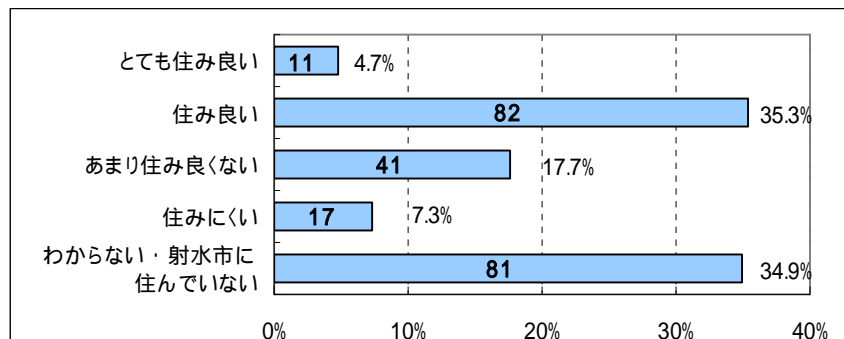


2. 射水市の住み心地と定住（移住）意向

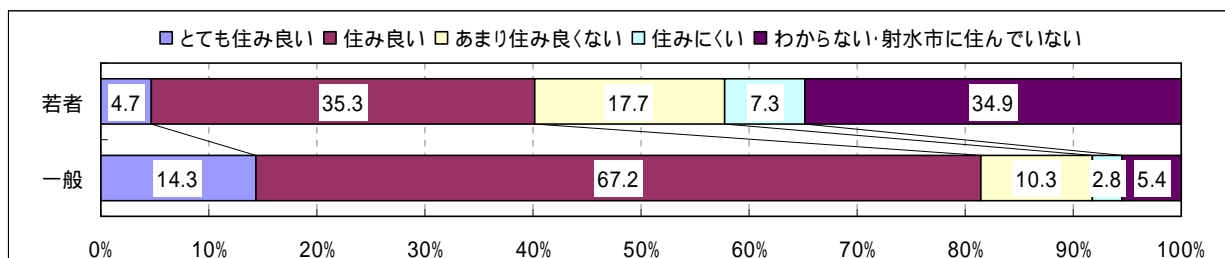
問2 あなたにとって射水市の住み心地はどうか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 232/247

射水市の住み心地について現在の満足度を把握するとともに、一般向け調査の結果と比較することで、意識の差を把握した。



一般向け調査との比較



< 集計結果 >

「住み良い」が 35.3%と最も高く、次いで「わからない・射水市に住んでいない」(34.9%)、「あまり住み良くない」(17.7%)、「住みにくい」(7.3%)、「とても住み良い」(4.7%)となった。「とても住み良い」と「住み良い」を合わせると全体の約 40%を占め、「あまり住み良くない」と「住みにくい」を合わせた 25.0%を上回る結果となった。

また、参考値として、「わからない・射水市に住んでいない」の回答者を除き、射水市在住者のみで集計した場合、「とても住み良い」が 7.4%、「住み良い」が 53.4%、合わせて 60.8%であった。

< 一般向け調査との比較 >

「とても住み良い」では、若者向け調査(以下「若者」とする。)は 4.7%であり、一般向け調査(以下「一般」とする。)の 14.3%と比較しておよそ 3分の1の割合となっている。また、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合では、一般は 81.5%だったのに対し、若者は 40.0%であり、およそ半分の割合となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合は、男性が 48.6%、女性が 22.8%であった。また、「あまり住み良くない」と「住み良くない」を合わせた割合は、男性が 25.7%、女性が 25.3%とほぼ同様の結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区及び小杉地区について集計すると、「とても住み良い」と「住み良い」を合わせた割合は、小杉地区が 67.0%であり、新湊地区は 39.3%であった。また、「あまり住み良くない」と「住み良くない」を合わせた割合は、新湊地区が 60.7%であり、小杉地区が 29.5%であった。

問3 あなたは、今後も射水市に住み続けたい(射水市以外にお住まいの方は将来住んでみたい)と思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 232/247

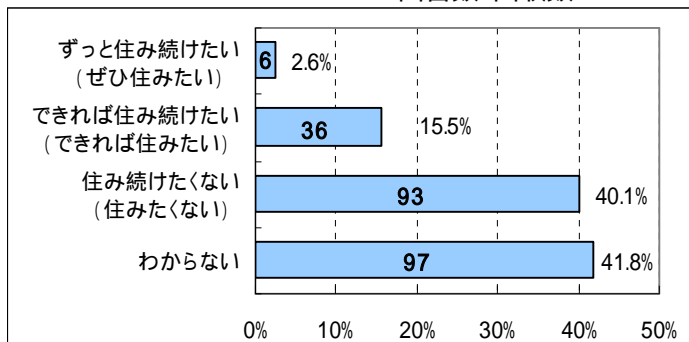
<集計結果>

「わからない」が41.8%と最も高く、次いで「住み続けたくない(住みたくない)」(40.1%)、「できれば住み続けたい(できれば住みたい)」(15.5%)、「ずっと住み続けたい(ぜひ住みたい)」(2.6%)となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「ずっと住み続けたい(ぜひ住みたい)」と「できれば住み続けたい(できれば住みたい)」を合わせた割合は、男性が22.4%と、女性(10.3%)を大きく上回っている。また、「住み続けたくない(住みたくない)」では、男性が40.1%、女性が38.8%であり、全体とほぼ同様の結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「ずっと住み続けたい(ぜひ住みたい)」と「できれば住み続けたい(できれば住みたい)」を合わせた割合は、小杉地区が28.6%で最も高く、次いで新湊地区(20.5%)、射水市外(10.5%)となった。「住み続けたくない(住みたくない)」では、新湊地区が57.1%で最も高く、次いで小杉地区(50.0%)、射水市外(27.6%)となった。



問4 射水市に住み続けたい(又は将来住んでみたい)主な理由は何ですか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)【限定設問】

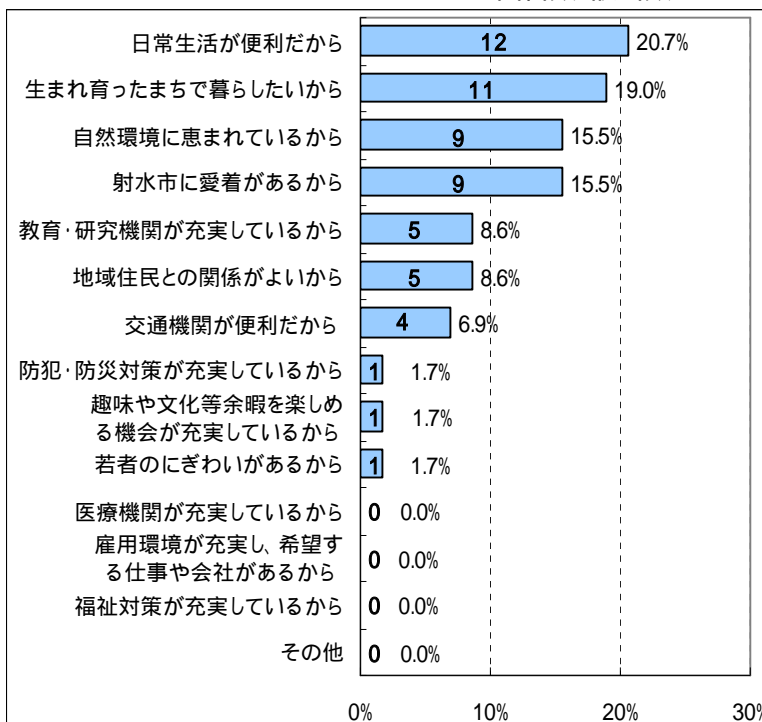
回答数/該当数 29/58

<集計結果>

問3で「ずっと住み続けたい(ぜひ住みたい)」、「できれば住み続けたい(できれば住みたい)」と回答した人では、「日常生活が便利だから」が20.7%と最も高く、次いで「生まれ育ったまちで暮らしたいから」(19.0%)、「自然環境に恵まれているから」「射水市に愛着があるから」(ともに15.5%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性は「日常生活が便利だから」(25.0%)、女性は「生まれ育ったまちで暮らしたいから」(28.6%)がそれぞれ第1位であった。



地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区は「生まれ育ったまちで暮らしたいから」(33.3%)、小杉地区は「日常生活が便利だから」(23.1%)、射水市外は「自然環境に恵まれているから」(31.3%)がそれぞれ第1位であった。

問5 射水市に住み続けたくない(又は将来住みたくない)主な理由は何ですか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)【限定設問】

回答数/該当数 75/150

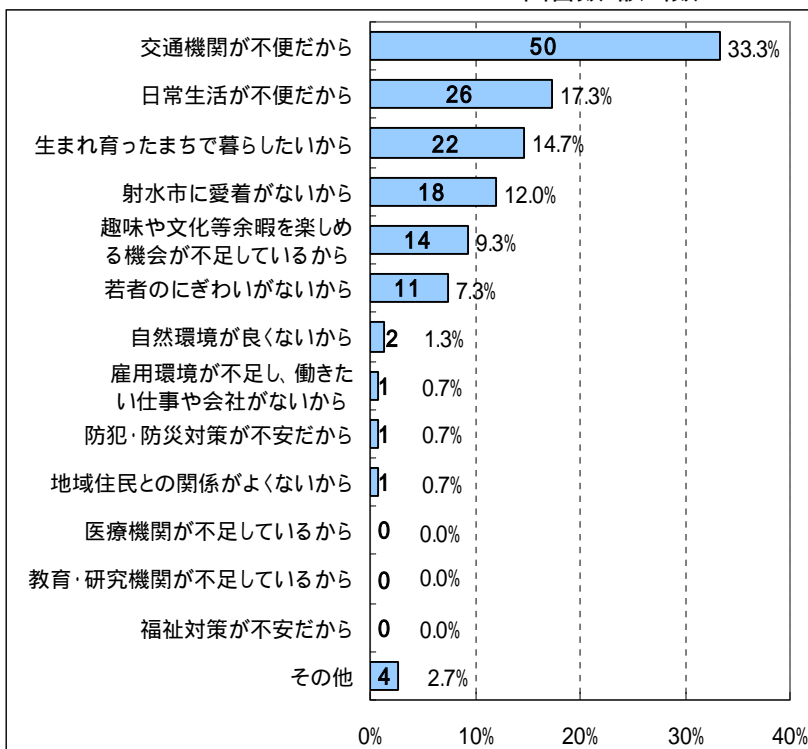
<集計結果>

問3で「住み続けたくない(住みたくない)」と回答した人のうち、「交通機関が不便だから」が33.3%と最も高く、次いで「日常生活が不便だから」(17.3%)、「生まれ育ったまちで暮らしたいから」(14.7%)、「射水市に愛着がないから」(12.0%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「交通機関が不便だから」が男性(31.8%)、女性(36.2%)ともに第1位であった。男性は「生まれ育ったまちで暮らしたいから」(18.2%)、女性は「日常生活が不便だから」(20.7%)がそれぞれ第2位であった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「交通機関が不便だから」が全ての地区で第1位となった。新湊地区と射水市外では全体の傾向に大きな違いはみられなかったが、小杉地区では「生まれ育ったまちで暮らしたいから」(22.1%)が第2位であった。



問6 あなたが射水市で「魅力」だと感じることは何ですか。

(1) 次のうち、あてはまるものを3つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 222/247

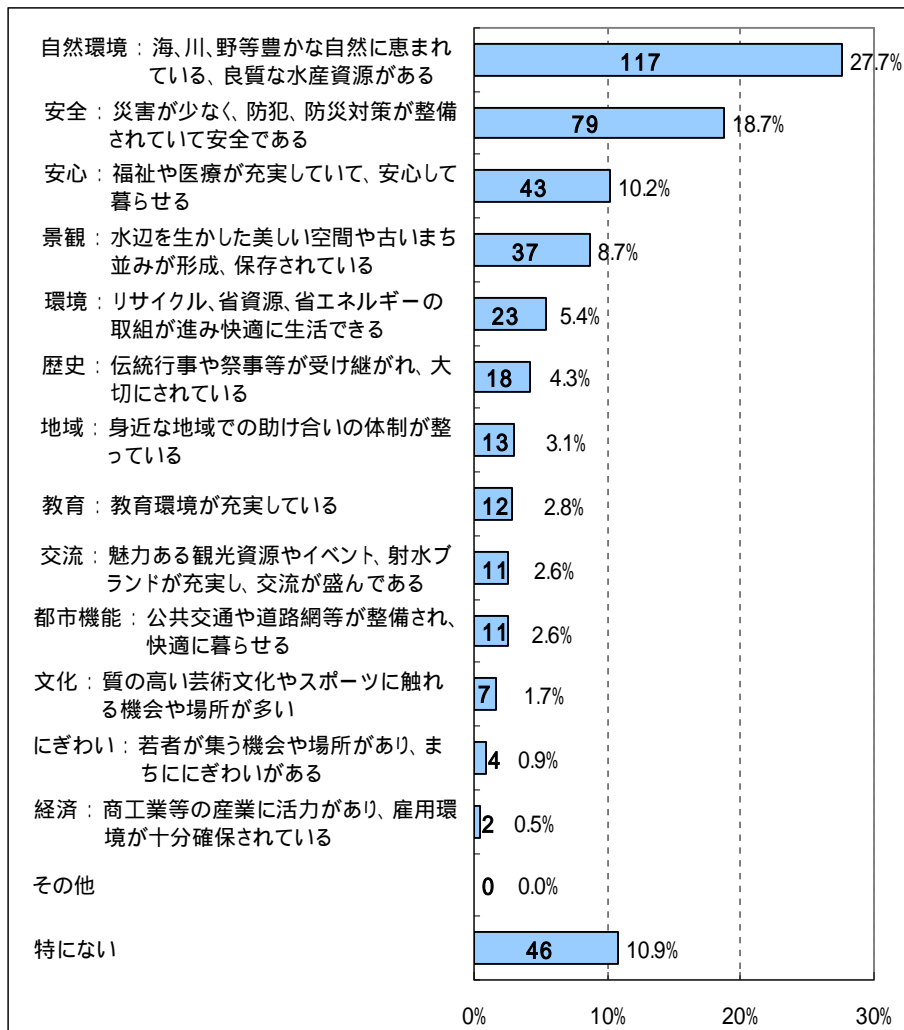
<集計結果>

「自然環境」が27.7%と最も高く、次いで「安全」(18.7%)、「特にない」(10.9%)、「安心」(10.2%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「自然環境」が男性、女性ともに第1位となったほか、男性では「安全」,「安心」と続く結果となり、女性では「特にない」,「安心」と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「自然環境」が全ての地区で第1位であった。



(2) 「射水市が誇れるもの」と聞いて、あなたがイメージする語句を簡潔に3つまで書いてください。

(MA)

調査票 247 通のうち、185 名の方から回答があった。

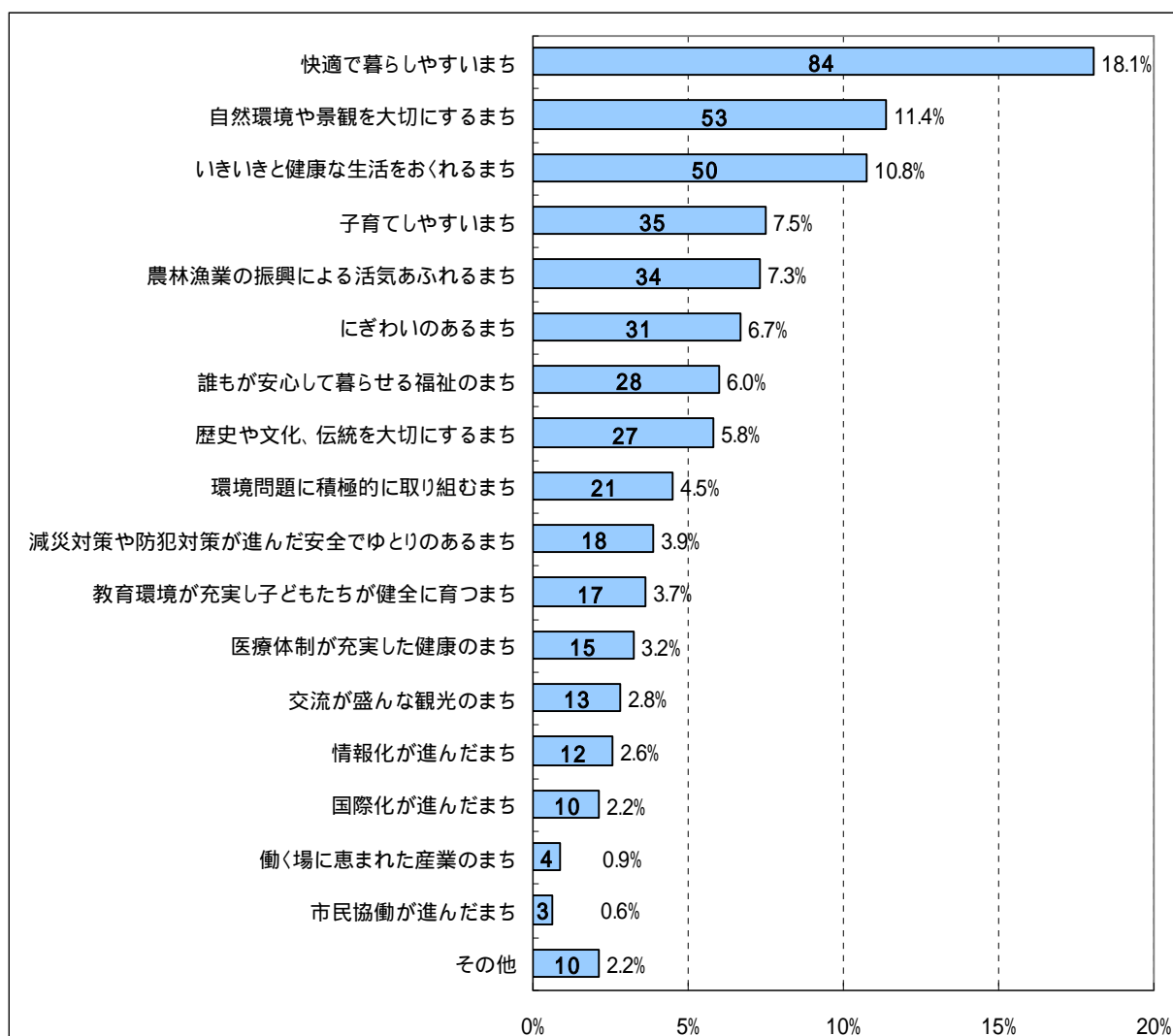
「海王丸」が103件で最も多く、次いで「白エビ」(35件)、「太閤山ランド」(31件)、「カニ(ベニズワイガニ)」(25件)、「イミズムズムズくん」(18件)、「祭り(凧まつり)」(18件)と続く結果となった。

「射水市が誇れるもの」 回答上位項目

順位	項目	回答数	%
1	海王丸	103	26.6
2	白エビ	35	9.0
3	太閤山ランド	31	8.0
4	カニ(ベニズワイガニ)	25	6.5
5	イミズムズムズくん(ムズムズくん)	18	4.7
5	祭り(凧まつり)	18	4.7
7	海	15	3.9
7	県立大	15	3.9
9	ホタルイカ	8	2.1
9	祭り(曳山祭り)	8	2.1

問7 あなたがイメージする10年後の射水市の将来像はどのようなまちですか。次のうち、あてはまるものを3つまで選んで番号に印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 217/247



< 集計結果 >

「快適で暮らしやすいまち」が18.1%と最も高く、次いで「自然環境や景観を大切にするまち」(11.4%)、「いきいきと健康な生活をおくれるまち」(10.8%)と続く結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、「快適で暮らしやすいまち」が男性(19.2%)、女性(15.2%)ともに第1位であった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「子育てしやすいまち」が14.0%で最も高く、次いで「快適で暮らしやすいまち」、「自然環境や景観を大切にするまち」と続く結果となった。小杉地区では、「快適で暮らしやすいまち」が21.8%で最も高く、次いで「自然環境や景観を大切にするまち」、「いきいきと健康な生活をおくれるまち」と続く結果となった。射水市外では、「快適で暮らしやすいまち」が16.7%で最も高く、次いで「いきいきと健康な生活をおくれるまち」、「自然環境や景観を大切にするまち」と続く結果となった。

3. 若者の日常生活

問8 日常生活や余暇の過ごし方について

(1) あなたが、自由な時間を過ごすことが多い場所は主にどこですか。次のうち、あてはまるものを2つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 227/247

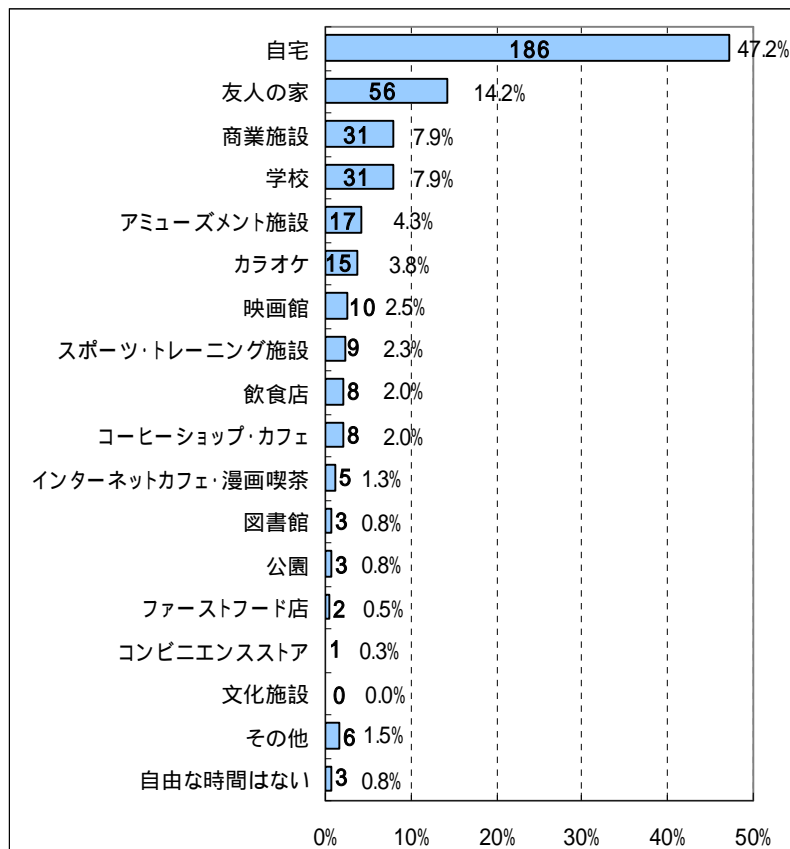
<集計結果>

「自宅」が47.2%と最も高く、次いで「友人の家」(14.2%)、「商業施設」、「学校」(それぞれ7.9%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「自宅」が男性(47.0%)、女性(47.4%)ともに第1位となった。男性は「友人の家」、「学校」、「商業施設」と続き、女性は「商業施設」、「学校」、「友人の家」と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「自宅」が全ての地区で第1位であった。新湊地区と小杉地区では、次いで「友人の家」、「商業施設」と続く結果となり、射水市外では「学校」、「商業施設」と続く結果となった。また、小杉地区では第2位であった「友人の家」は24.7%であり、新湊地区(10.4%)や射水市外(7.0%)より比較的高い割合となった。



(2) あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。次のうち、あてはまるものを2つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

<集計結果>

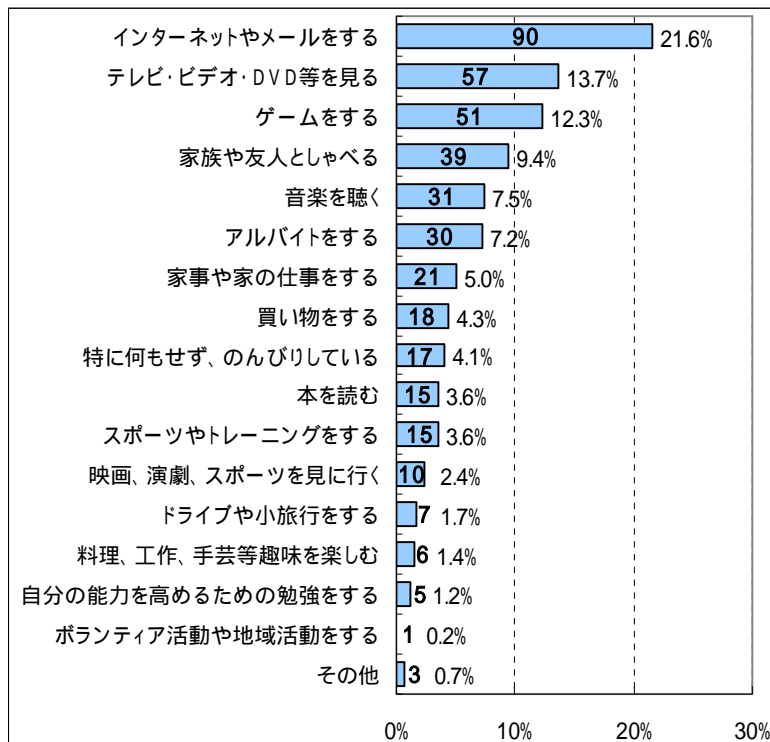
「インターネットやメールをする」が21.6%と最も高く、次いで「テレビ・ビデオ・DVD等を見る」(13.7%)、「ゲームをする」(12.3%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「インターネットやメールをする」が男性(23.6%)、女性(17.1%)ともに第1位であった。「ゲームをする」が男性で16.3%と第2位であるのに対し、女性は3.4%で第10位であった。女性は「家族や友人としゃべる」が15.8%で第2位となっている。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「テレビ・ラジオ・DVD等を見る」が第1位であり、小杉地区と射水市外では「インターネットやメールをする」が第1位であった。

回答数/回収数 222/247



(3) 日常生活について

日頃、食料品や日用雑貨等の買い物は、主にどこでしますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

<集計結果>

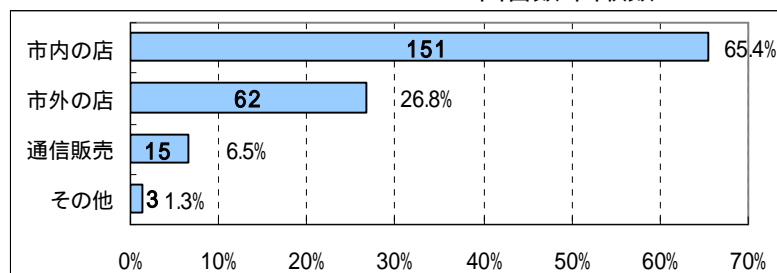
「市内の店」が65.4%と最も高く、次いで「市外の店」(26.8%)、「通信販売」(6.5%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性は「市内の店」が76.9%で最も高く、次いで「市外の店」、「通信販売」と続く結果となり、女性は「市外の店」が51.9%で最も高く、次いで「市内の店」、「通信販売」と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全ての地区で同様の傾向であったが、小杉地区では「市内の店」の割合が91.0%と、新湊地区(50.0%)や射水市外(46.6%)より大きく上回る結果となった。

回答数/回収数 231/247



市内の施設はどの程度利用しますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

・市役所

<集計結果>

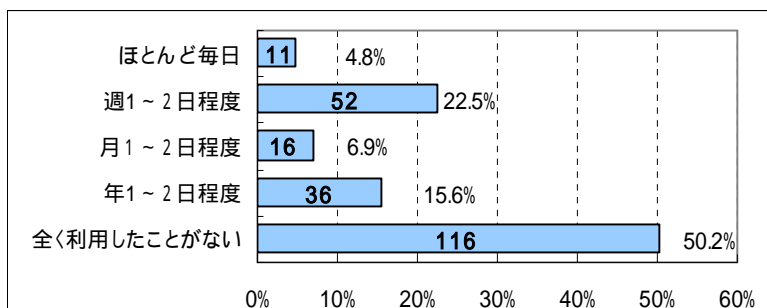
「全く利用したことがない」が50.2%と最も高く、次いで「週1～2日程度」(22.5%)、「年1～2日程度」(15.6%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 231/247



・図書館（新湊図書館、中央図書館、正力図書館、大島図書館、下村図書館）

<集計結果>

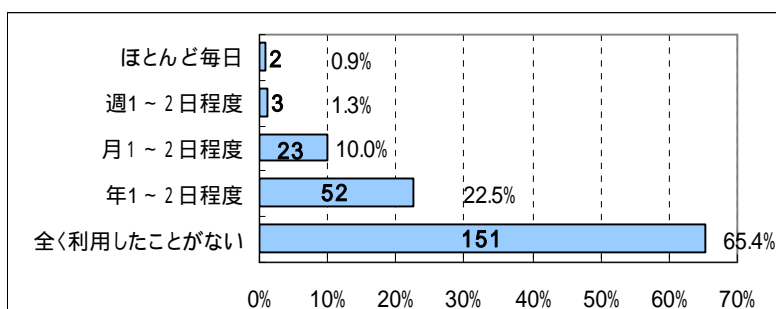
「全く利用したことがない」が65.4%と最も高く、次いで「年1～2日程度」(22.5%)、「月1～2日程度」(10.0%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区で「年1～2日程度」と「全く利用したことがない」がともに46.4%で最も高くなったが、小杉地区と射水市外では全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 231/247



・コミュニティセンター、公民館

<集計結果>

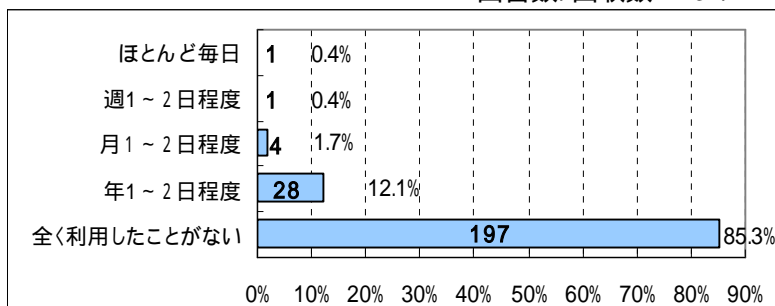
「全く利用したことがない」が85.3%となり、他施設と比較しても特に高い割合となった。次いで「年1～2日程度」(12.1%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 231/247



<集計結果>

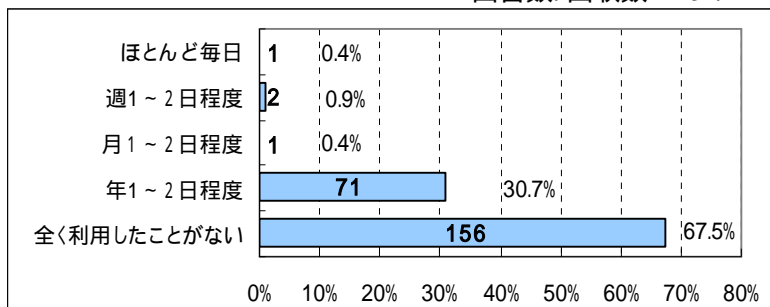
「全く利用したことがない」が67.5%で最も高く、次いで「年1～2日程度」(30.7%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、小杉地区で「年1～2回程度」の割合が42.7%であり、新湊地区(21.4%)、射水市外(22.3%)を大きく上回る結果となった。

回答数/回収数 231/247



・スポーツ施設(新湊アイシン軽金属スポーツセンター、アルビス小杉総合体育センター、小杉体育館、大門総合体育館、ヨシダ大島体育館、大島弓道場、下村体育館等)

<集計結果>

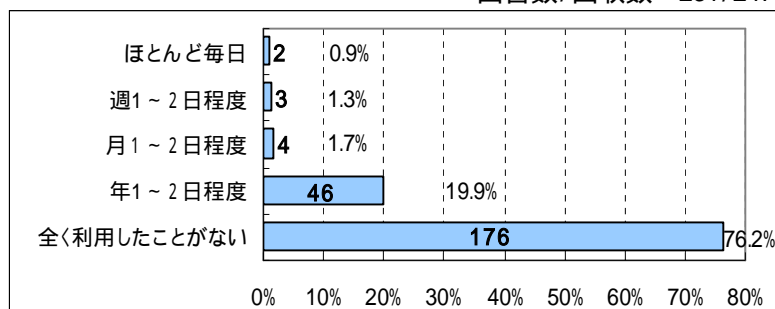
「全く利用したことがない」が76.2%で最も高く、次いで「年1～2日程度」(19.9%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 231/247



日頃、あなたが利用する主な交通手段は何ですか。

- ・通学の時に、利用する交通手段をすべて選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 228/247

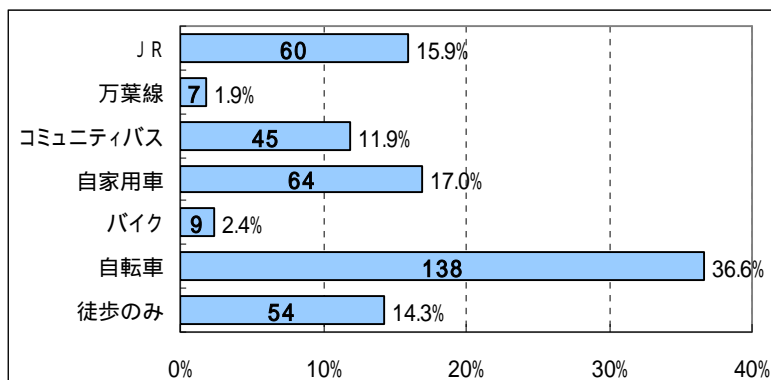
<集計結果>

「自転車」が 36.6%と最も高く、次いで「自家用車」(17.0%)、「J R」(15.9%)、「徒歩のみ」(14.3%)、「コミュニティバス」(11.9%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、項目ごとに差はあるものの、男性、女性ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「自家用車」が 23.0%で最も高く、次いで「自転車」(19.7%)、「コミュニティバス」(18.0%)、「徒歩のみ」(18.0%)、「J R」(13.1%)と続く結果となった。小杉地区では、「自転車」が 51.2%で他の地区より高くなっており、次いで「徒歩のみ」(22.0%)、「自家用車」(12.6%)と続く結果となった。また、射水市外では「自転車」が 31.0%と最も高く、次いで「J R」(24.6%)、「自家用車」(19.3%)、「コミュニティバス」(14.0%)と続く結果となった。



- ・買い物や余暇時間に、最もよく利用する交通手段を1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

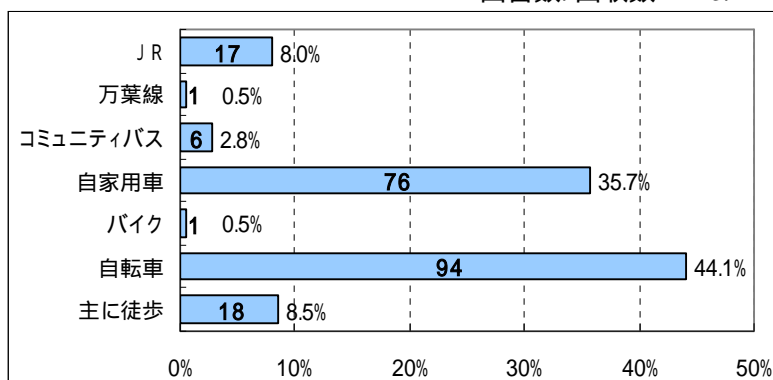
回答数/回収数 213/247

<集計結果>

「自転車」が 44.1%と最も高く、次いで「自家用車」(35.7%)が続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性は「自転車」が 50.4%で最も高く、次いで「自家用車」(32.8%)、「主に徒歩」(8.8%)と続く結果となり、女性は



「自家用車」が 43.7%で最も高く、次いで「自転車」(29.6%)、「J R」(11.3%)と続く結果となった。

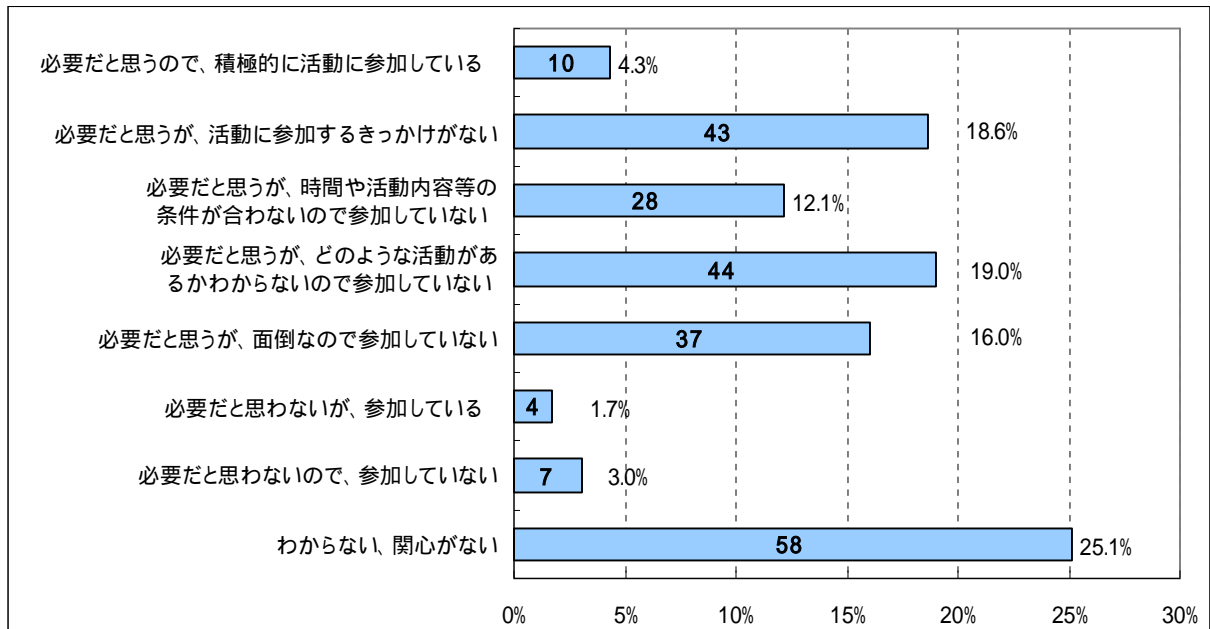
地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「自家用車」が 38.5%で最も高く、次いで「自転車」(30.8%)、「J R」(15.4%)と続く結果となった。小杉地区では、「自転車」が 64.7%で最も高く、次いで「自家用車」(17.6%)、「主に徒歩」(10.6%)と続く結果となった。また、射水市外では、「自家用車」が 52.7%で最も高く、次いで「自転車」(28.6%)、「J R」(9.9%)と続く結果となった。

4. 地域活動・学校間交流の状況・市政への関心

問9 地域活動への参加について

(1) あなたは、地域活動について、どのように思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247



< 集計結果 >

「わからない、関心がない」が25.1%と最も高く、次いで「必要だと思うが、どのような活動があるかわからないので参加していない」(19.0%)、「必要だと思うが、活動に参加するきっかけがない」(18.6%)、「必要だと思うが、面倒なので参加していない」(16.0%)、「必要だと思うが、時間や活動内容等の条件が合わないので参加していない」(12.1%)と続く結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性は「わからない、関心がない」が25.7%で最も高く、次いで「必要だと思うが、どのような活動があるかわからないので参加していない」、「必要だと思うが、面倒なので参加していない」と続く結果となったが、女性は「必要だと思うが、活動に参加するきっかけがない」と「わからない、関心がない」がともに25.6%で最も高く、「必要だと思うが、どのような活動があるかわからないので参加していない」が続く結果となった。

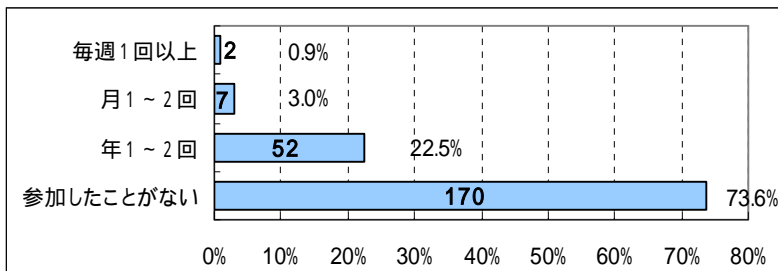
地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

(2) あなたは、どの程度地域活動に参加していますか(最近1年以内)。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<集計結果>

「参加したことがない」が73.6%と最も高く、次いで「年1~2回」(22.5%)、「月1~2回」(3.0%)、「毎週1回以上」(0.9%)となった。



<属性による比較>

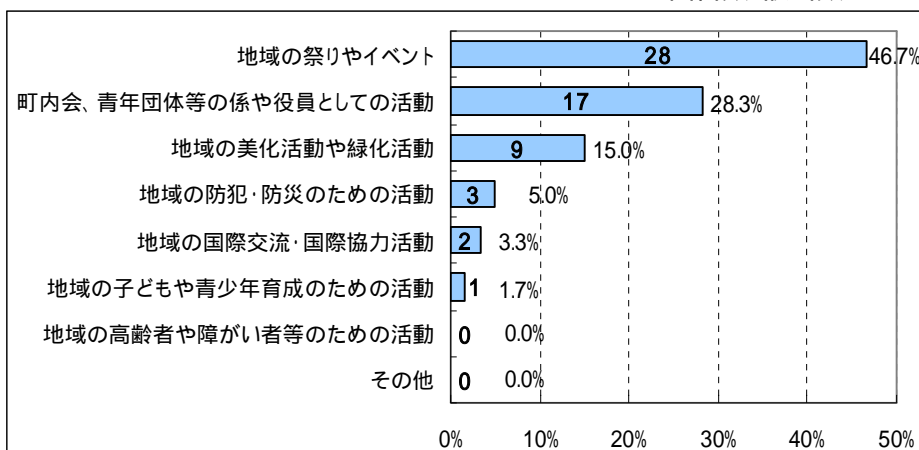
性別、地区別で集計すると、ともに全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

(3)(2)で「1(毎週1回以上)」「2(月1~2回)」「3(年1~2回)」と答えた方にお聞きします。あなたは、どのような地域活動に参加していますか。次のうち、参加する頻度が高いものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)【限定設問】

回答数/該当数 60/61

<集計結果>

「地域の祭りやイベント」が46.7%と最も高く、次いで「町内会、青年団体等の係や役員としての活動」(28.3%)、「地域の美化活動や緑化活動」(15.0%)と続く結果となった。



(4) あなたは地域活動に参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

<集計結果>

「関心がある内容であれば参加したい」が39.6%と最も高く、次いで「機会があれば参加したい」(23.9%)、「あまり参加したいと思わない」(22.2%)、「全く参加したいと思わない」(12.2%)、「積極的に参加したい」(2.2%)となった。

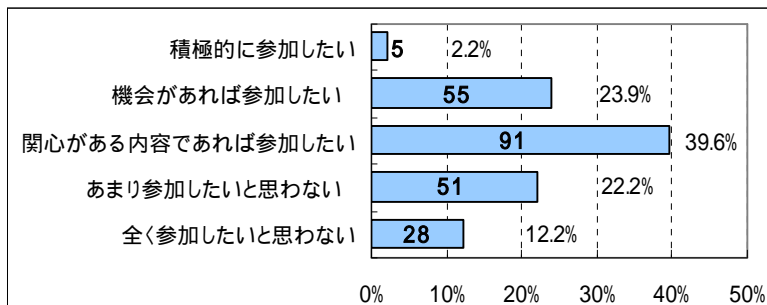
「積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」及び「関心がある内容であれば参加したい」を合わせた割合は65.7%であり、機会や内容に応じた地域活動への参加意向があることがうかがえる。

<属性による比較>

性別で集計すると、「積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」及び「関心がある内容であれば参加したい」を合わせた割合は、男性が60.1%、女性が75.3%であった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」及び「関心がある内容であれば参加したい」を合わせた割合は、新湊地区が82.1%、小杉地区が60.7%、射水市外が64.7%であった。

回答数/回収数 230/247



(5) あなたが地域活動に参加するためには、どのような取組が有効だと思いますか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に印をつけてください。(MA)

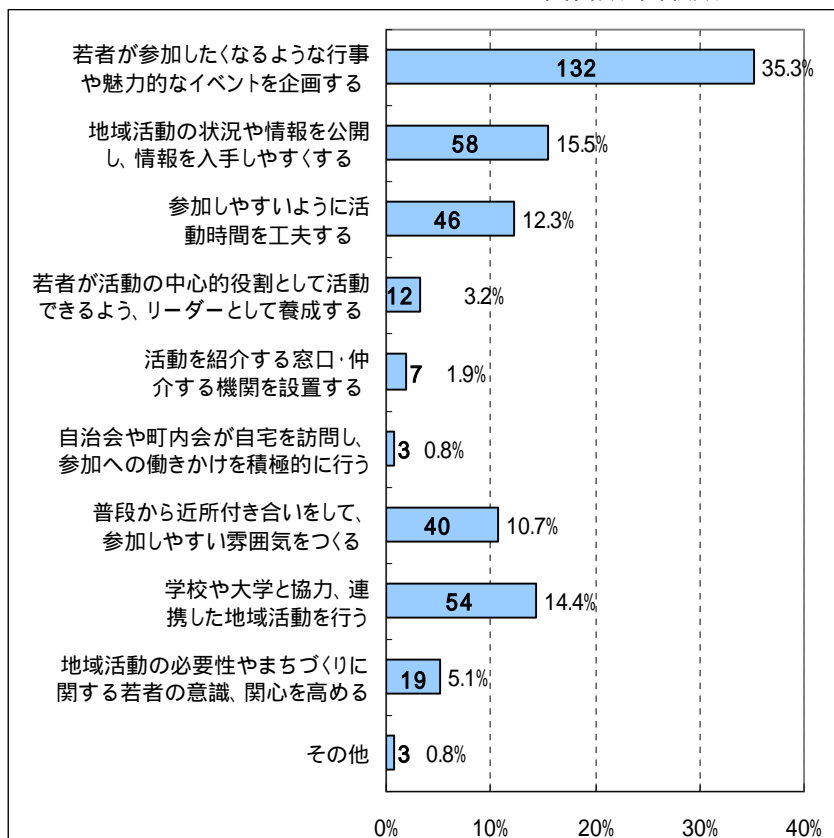
<集計結果>

「若者が参加したくなるような行事や魅力的なイベントを企画する」が35.3%と最も高く、「地域活動の状況や情報を公開し、情報を入手しやすくする」(15.5%)、「学校や大学と協力、連携した地域活動を行う」(14.4%)、「参加しやすいように活動時間を工夫する」(12.3%)、「普段から近所付き合いをして、参加しやすい雰囲気をつくる」(10.7%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別ともに、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 187/247



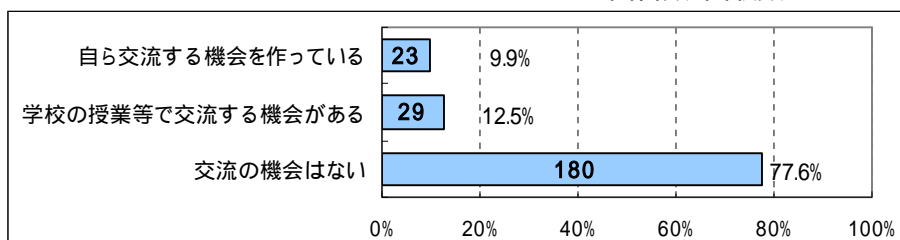
問10 他校との交流について

(1) あなたは、他の高等教育機関と交流する機会がありますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 232/247

<集計結果>

「交流の機会はない」が77.6%と最も高く、次いで「学校の授業等で交流する機会がある」(12.5%)、「自ら交流する機会を作っている」(9.9%)となった。



「自ら交流する機会を作っている」と「学校の授業等で交流する機会がある」を合わせた割合は22.4%であり、約2割が他の高等教育機関との交流機会を持っていることがうかがえる。

<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。「自ら交流する機会を作っている」と「学校の授業等で交流する機会がある」を合わせた割合は、男性で23.6%、女性で20.3%であった。

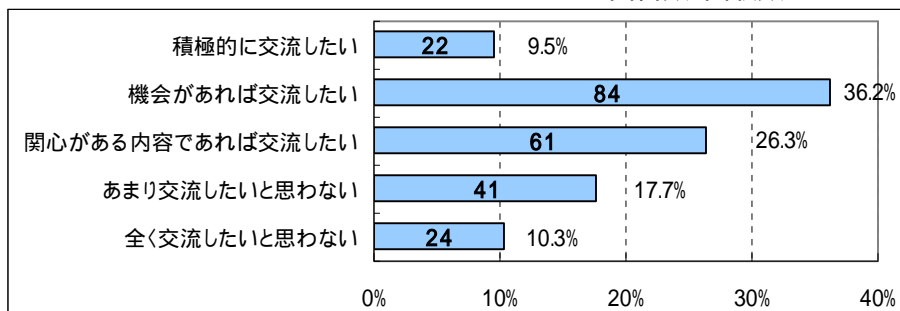
地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。「自ら交流する機会を作っている」と「学校の授業等で交流する機会がある」を合わせた割合は、新湊地区で28.6%、小杉地区で23.6%、射水市外で20.6%であった。

(2) あなたは、他の高等教育機関や他校の学生と交流したいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 232/247

<集計結果>

「機会があれば参加したい」が36.2%と最も高く、次いで「関心がある内容であれば交流したい」(26.3%)、「あまり交流したいと思わない」(17.7%)、「全く交流したいと思わない」(10.3%)、「積極的に交流したい」(9.5%)となった。



「積極的に交流したい」、「機会があれば交流したい」及び「関心がある内容であれば交流したい」を合わせた割合は72.0%であり、約7割が交流意向を持つことがうかがえる。

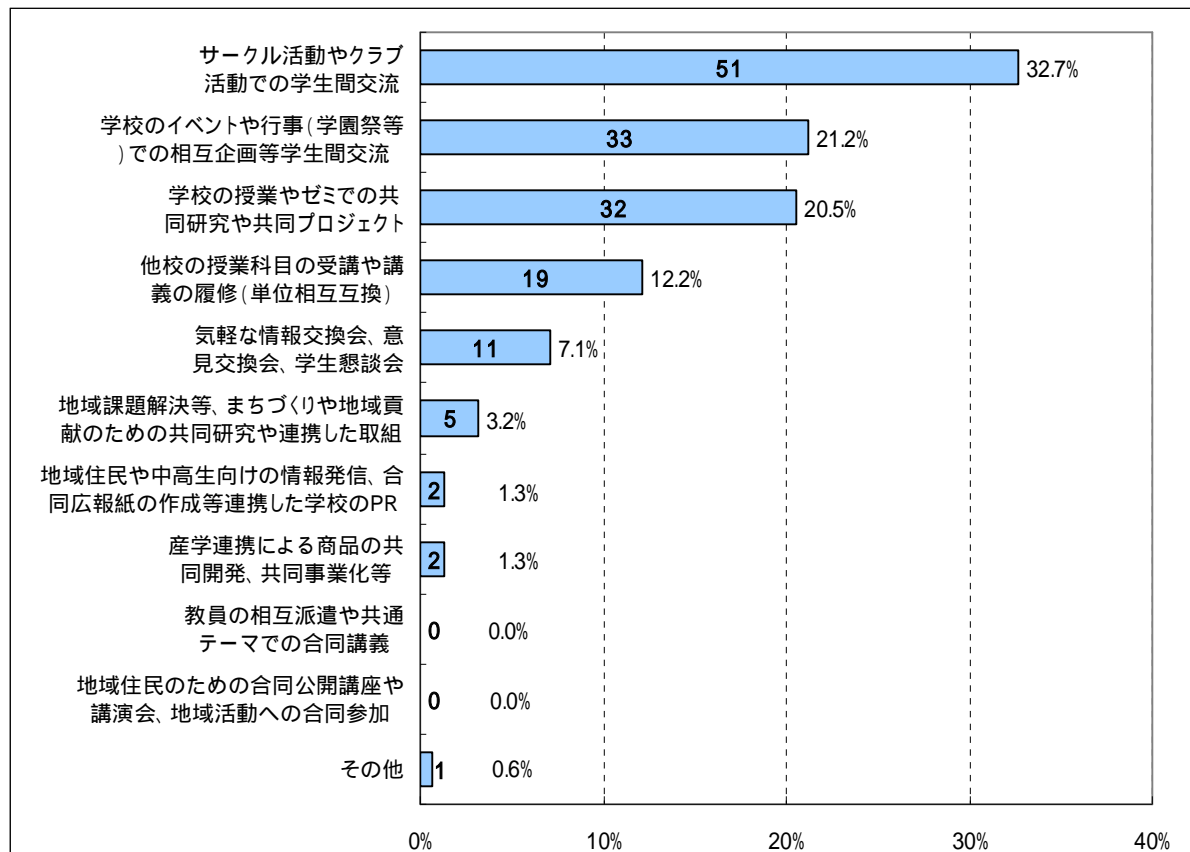
<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。「積極的に交流したい」、「機会があれば交流したい」及び「関心がある内容であれば交流したい」を合わせた割合は、男性で66.9%、女性で79.7%であった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。「積極的に交流したい」、「機会があれば交流したい」及び「関心がある内容であれば交流したい」を合わせた割合は、新湊地区が89.3%で最も高く、小杉地区が73.0%、射水市外が66.3%であった。

- (3)(2)で「1(積極的に交流したい)」、「2(機会があれば交流したい)」、「3(関心がある内容であれば交流したい)」と答えた方にお聞きします。あなたは、他の高等教育機関とどのような内容の交流をしたいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。
(SA)【限定設問】

回答数/該当数 156/167



< 集計結果 >

「サークル活動やクラブ活動での学生間交流」が32.7%と最も高く、次いで「学校のイベントや行事(学園祭等)での相互企画等学生間交流」(21.2%)、「学校の授業やゼミでの共同研究や共同プロジェクト」(20.5%)、「他校の授業科目の受講や講義の履修(単位相互互換)」(12.2%)と続く結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「サークル活動やクラブ活動での学生間交流」が全ての地区で第1位であり、新湊地区と射水市外では「学校のイベントや行事(学園祭等)での相互企画等学生間交流」がともに第2位に、小杉地区では「学校の授業やゼミでの共同研究や共同プロジェクト」が第2位であった。

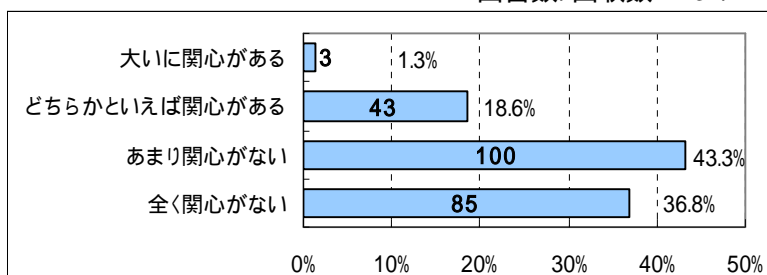
問11 市の政策に対する関心について

(1) あなたは、射水市のまちづくり(行政の施策)に関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<集計結果>

「あまり関心がない」が43.3%と最も高く、次いで「全く関心がない」(36.8%)、「どちらかといえば関心がある」(18.6%)、「大いに関心がある」(1.3%)となった。



「大いに関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は19.9%であり、約2割が射水市のまちづくりに関心があることがうかがえる。

<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。「大いに関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、男性が21.1%、女性が17.7%であった。

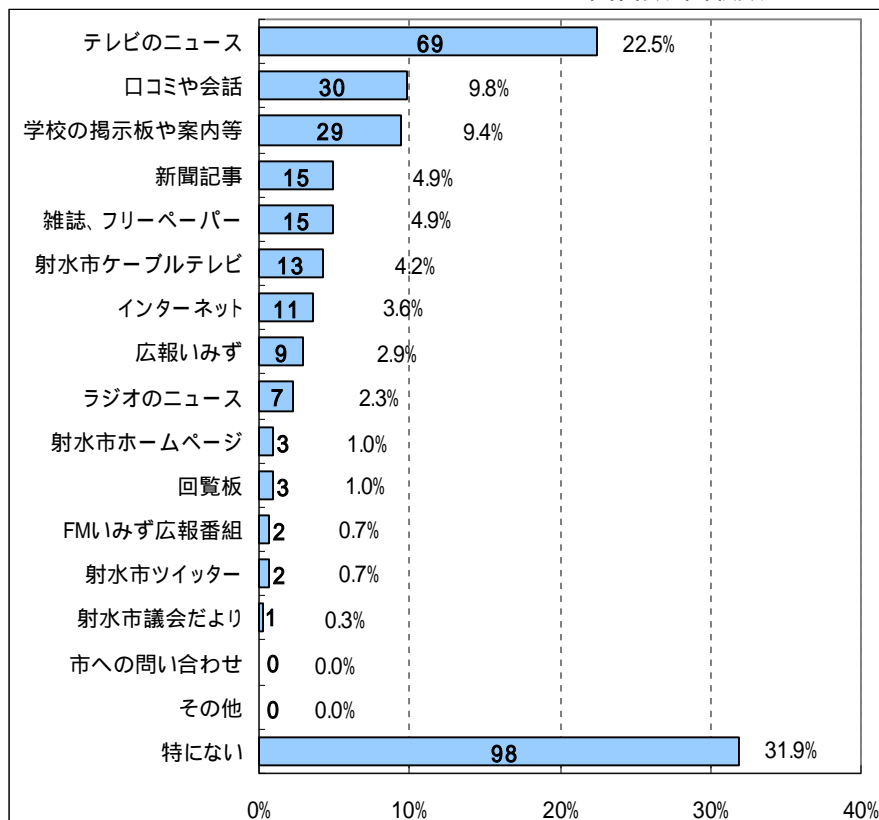
地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「大いに関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、新湊地区が28.6%、小杉地区が27.3%、射水市外が10.6%であった。

(2) あなたは、射水市の情報を主にどのような手段で入手していますか。次のうち、多いものを2つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 229/247

<集計結果>

「特にない」が31.9%と最も高く、次いで「テレビのニュース」(22.5%)、「口コミや会話」(9.8%)、「学校の掲示板や案内等」(9.4%)と続く結果となった。

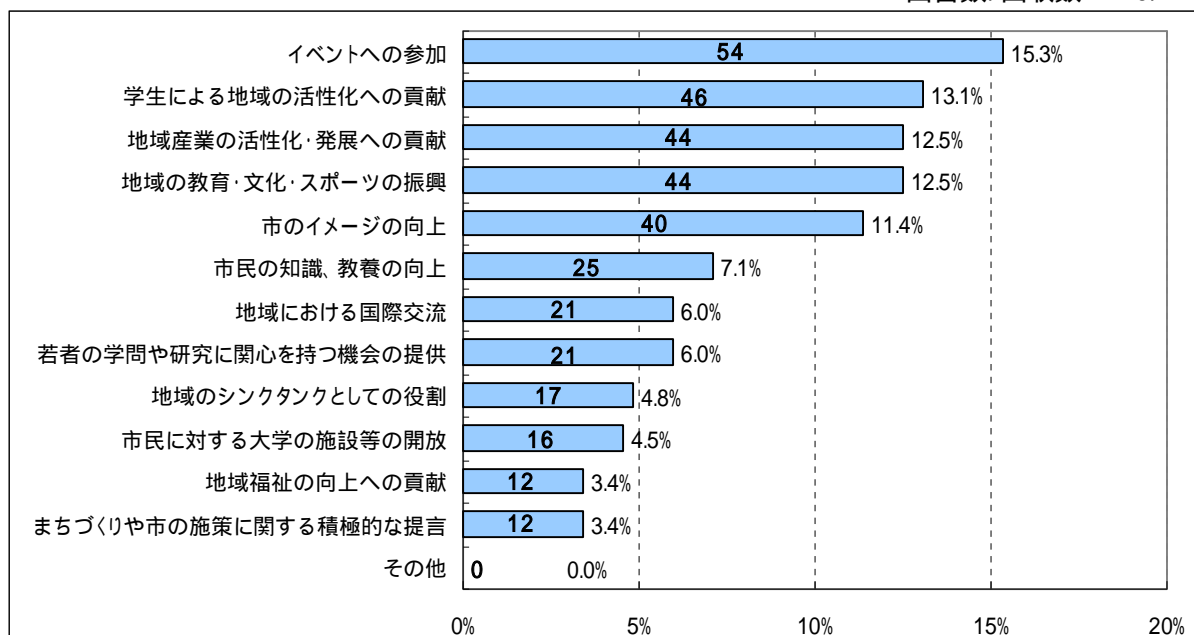


<属性による比較>

性別、地区別ともに、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

(3) 射水市は、富山県立大学、富山高等専門学校と包括的連携協定を締結していますが、あなたは、高等教育機関はどのような形で地域に貢献するのがふさわしいと思いますか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 176/247



< 集計結果 >

「イベントへの参加」が 15.3%と最も高く、次いで「学生による地域の活性化への貢献」(13.1%)、「地域産業の活性化・発展への貢献」(12.5%)、「地域の教育・文化・スポーツの振興」(12.5%)、「市のイメージの向上」(11.4%)と続く結果となった。

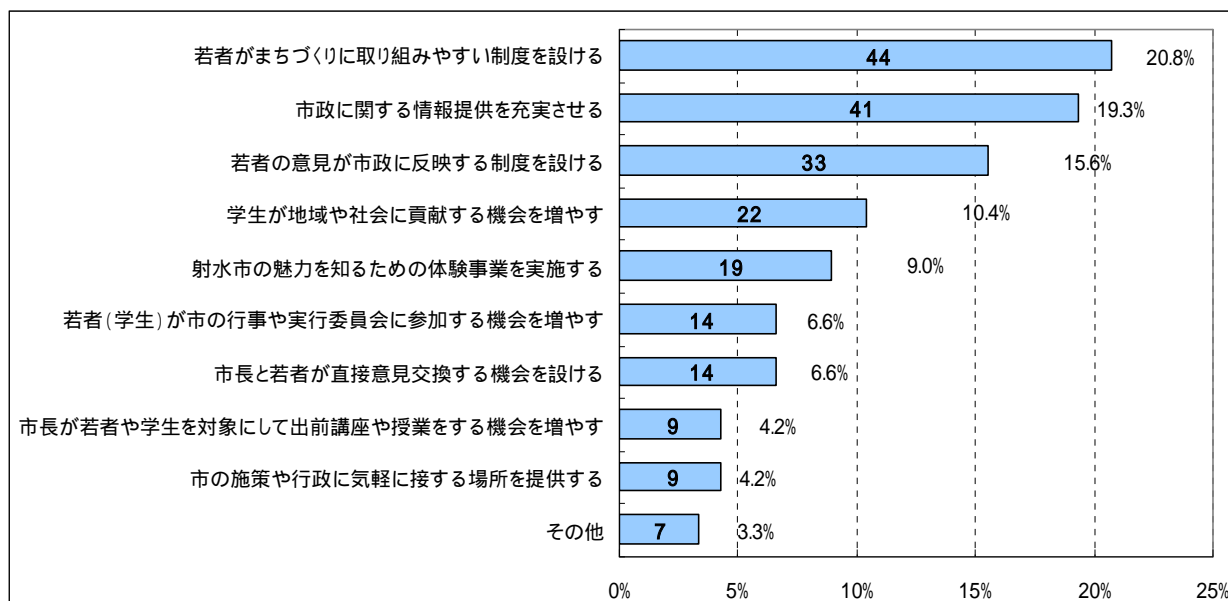
< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性は「イベントへの参加」が 17.3%で最も高く、次いで「学生による地域の活性化への貢献」(12.7%)、「地域産業の活性化・発展への貢献」(12.3%)と続き、女性は「地域の教育・文化・スポーツの振興」と「学生による地域の活性化への貢献」がともに 14.5%で最も高く、次いで「市のイメージの向上」と「地域産業の活性化・発展への貢献」(ともに 12.9%)が続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「地域の教育・文化・スポーツの振興」が 22.7%で最も高く、次いで「地域産業の活性化・発展への貢献」と続き、小杉地区では「イベントへの参加」が 13.9%で最も高く、次いで「地域の教育・文化・スポーツの振興」と続き、射水市外では「イベントへの参加」が 17.9%で最も高く、次いで「市のイメージの向上」と続く結果となった。

(4) 若者(学生)が、市の施策に関心を持つには、どのような取組が必要だと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 212/247



< 集計結果 >

「若者がまちづくりに取り組みやすい制度を設ける」が20.8%と最も高く、次いで「市政に関する情報提供を充実させる」(19.3%)、「若者の意見が市政に反映する制度を設ける」(15.6%)、「学生が地域や社会に貢献する機会を増やす」(10.4%)と続く結果となった。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性は「市政に関する情報提供を充実させる」が21.5%で最も高く、次いで「若者がまちづくりに取り組みやすい制度を設ける」(17.8%)、「若者の意見が市政に反映する制度を設ける」(16.3%)と続いている。女性は「若者がまちづくりに取り組みやすい制度を設ける」が27.4%で最も高く、次いで「若者の意見が市政に反映する制度を設ける」(15.1%)、「市政に関する情報提供を充実させる」(13.7%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「若者がまちづくりに取り組みやすい制度を設ける」が30.8%で最も高く、次いで「市政に関する情報提供を充実させる」(19.2%)、「若者(学生)が市の行事や実行委員会に参加する機会を増やす」(ともに19.2%)と続く結果となった。小杉地区では「市政に関する情報提供を充実させる」が21.7%で最も高く、次いで「若者がまちづくりに取り組みやすい制度を設ける」(20.5%)と続く結果となった。射水市外では「若者がまちづくりに取り組みやすい制度を設ける」と「若者の意見が市政に反映する制度を設ける」がともに19.4%で最も高くなった。

(5) まちの活性化のために重要な取組は何だと思いますか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 185/247

<集計結果>

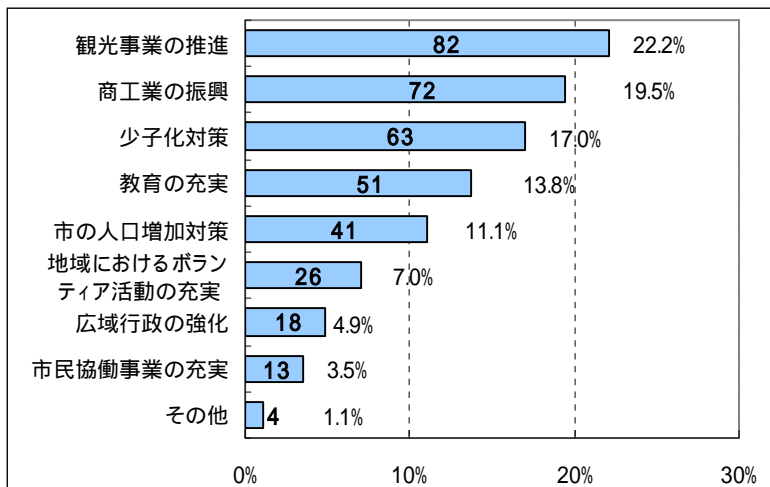
「観光事業の推進」が22.2%と最も高く、次いで「商工業の振興」(19.5%)、「少子化対策」(17.0%)、「教育の充実」(13.8%)、「市の人口増加対策」(11.1%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性は「商工業の振興」が20.7%で最も高く、次いで「観光事業の推進」(19.8%)、「少子化対策」(16.8%)と続く結果

となった。女性は「観光事業の推進」が25.4%で最も割合が高く、次いで「少子化対策」、「教育の充実」、「商工業の振興」(ともに17.7%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



(6) あなた(若者や学生)がまちの活性化や地域貢献をしたら、ふさわしい分野や方法は何かと思いますか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 186/247

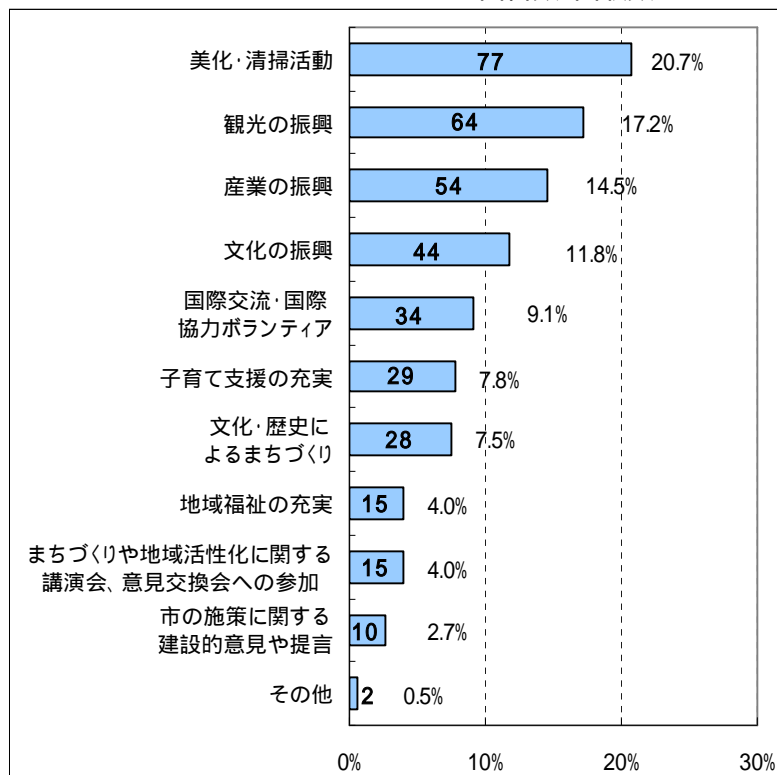
<集計結果>

「美化・清掃活動」が20.7%と最も高く、次いで「観光の振興」(17.2%)、「産業の振興」(14.5%)、「文化の振興」(11.8%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性では「美化・清掃活動」が22.0%で最も高く、次いで「観光の振興」(18.1%)、「産業の振興」(16.4%)と続き、女性では「国際交流・国際協力ボランティア」が18.9%で最も高く、男性(3.9%)を大きく上回り、次いで「美化・清掃活動」(17.4%)、「観光の振興」(15.9%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



5. 若者の人生観

問12 職業観、就職について

(1) あなたは、働く目的をどのように考えていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

<集計結果>

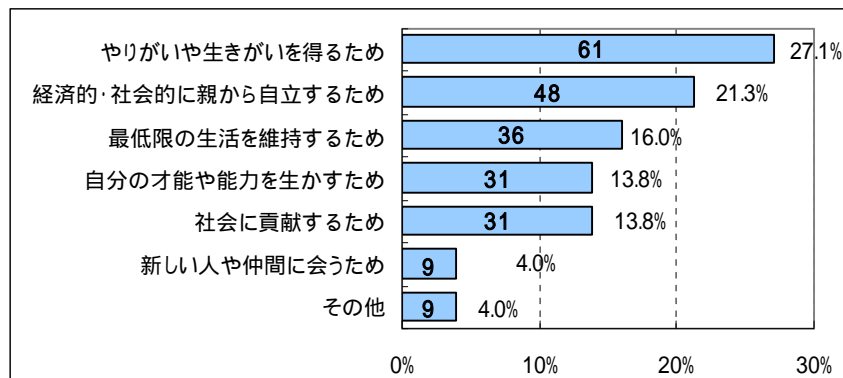
「やりがいや生きがいを得るため」が27.1%と最も高く、次いで「経済的・社会的に親から自立するため」(21.3%)、「最低限の生活を維持するため」(16.0%)、「自分の才能や能力を生かすため」(13.8%)、「社会に貢献するため」(ともに13.8%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「やりがいや生きがいを得るため」の割合は、女性(34.6%)が男性(22.5%)を上回り、「最低限の生活を維持するため」の割合では、男性(19.3%)が女性(10.3%)を上回る結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「やりがいや生きがいを得るため」の割合は、新湊地区が42.9%であり、小杉地区(26.7%)や射水市外(24.0%)より高い結果となった。

回答数/回収数 225/247



(2) あなたが、就職先を選ぶときに重視することは何ですか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

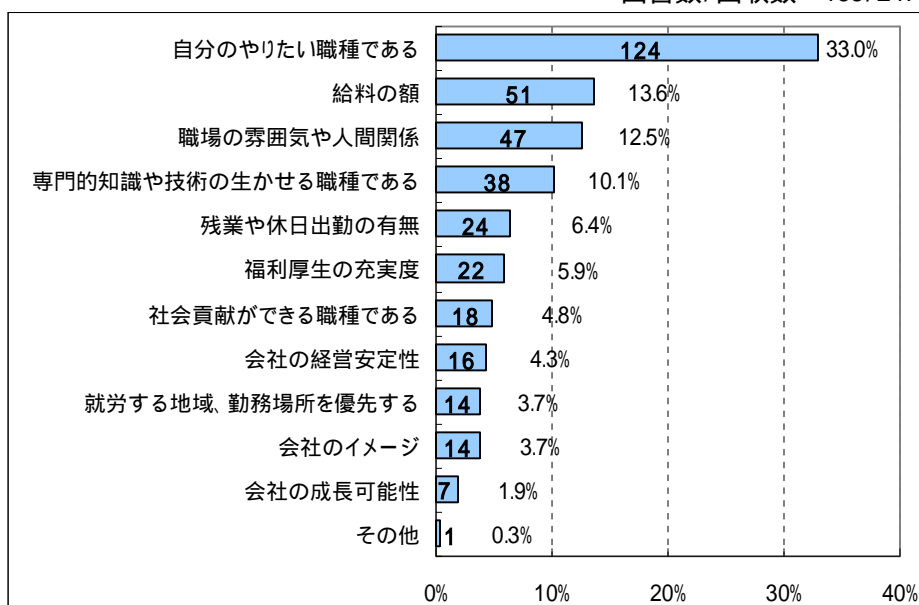
<集計結果>

「自分のやりたい職種である」が33.0%と最も高く、次いで「給料の額」(13.6%)、「職場の雰囲気や人間関係」(12.5%)、「専門的知識や技術の生かせる職種である」(10.1%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別ともに、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 188/247



(3) あなたは、将来の就職に向けて、現在準備していることはありますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 222/247

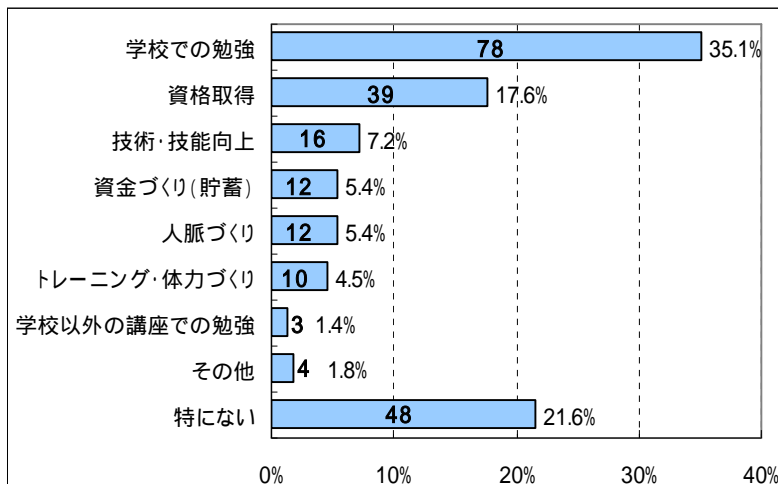
<集計結果>

「学校での勉強」が35.1%と最も高く、次いで「特にない」(21.6%)、「資格取得」(17.6%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「資格取得」の割合は女性(28.2%)が男性(12.2%)を上回る結果となった。

地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



(4) あなたの就職活動のための主な情報源は何ですか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 226/247

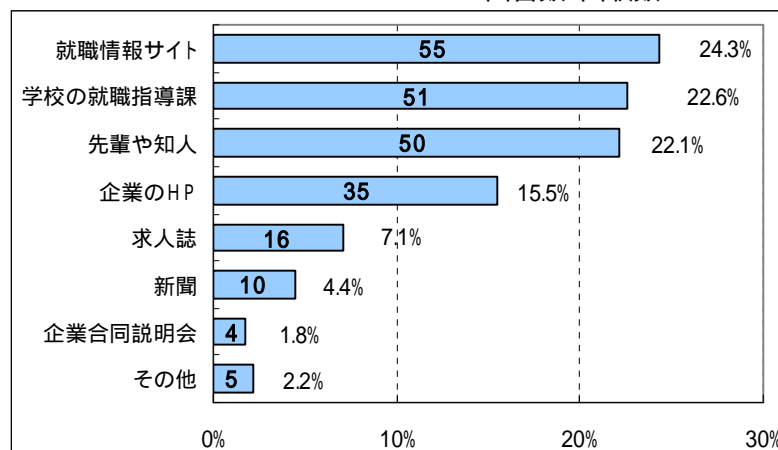
<集計結果>

「就職情報サイト」が24.3%と最も高く、次いで「学校の就職指導課」(22.6%)、「先輩や知人」(22.1%)、「企業のHP」(15.5%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「学校の就職指導課」(32.1%)、小杉地区では「就職情報サイト」(29.5%)、射水市外では「学校の就職指導課」(29.0%)がそれぞれ第1位であった。



(5) あなたの希望する就職先はどこですか。

希望する業種について、次から1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 224/247

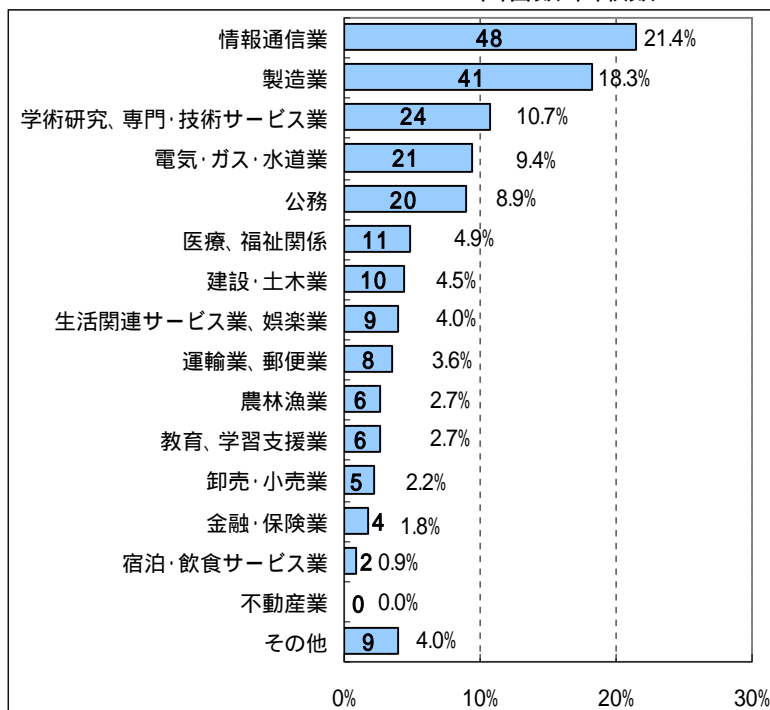
<集計結果>

「情報通信業」が21.4%と最も高く、次いで「製造業」(18.3%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(10.7%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「情報通信業」の割合が男性(23.6%)、女性(18.7%)ともに第1位であった。男性では次いで「製造業」(22.9%)、「電気・ガス・水道業」(12.5%)と続き、女性では次いで「学術研究、専門・技術サービス業」(12.0%)、「生活関連サービス業、娯楽業」、「医療、福祉関係」、「公務」(ともに10.7%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「製造業」が17.9%で最も高く、次いで「運輸業、郵便業」(14.3%)と続く結果となった。小杉地区では「情報通信業」が24.4%で最も割合が高く、次いで「製造業」(17.4%)と続く結果となった。射水市外でも「情報通信業」が21.8%で最も割合が高く、次いで「製造業」(18.8%)と続く結果となった。



希望する職種について、次から1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 222/247

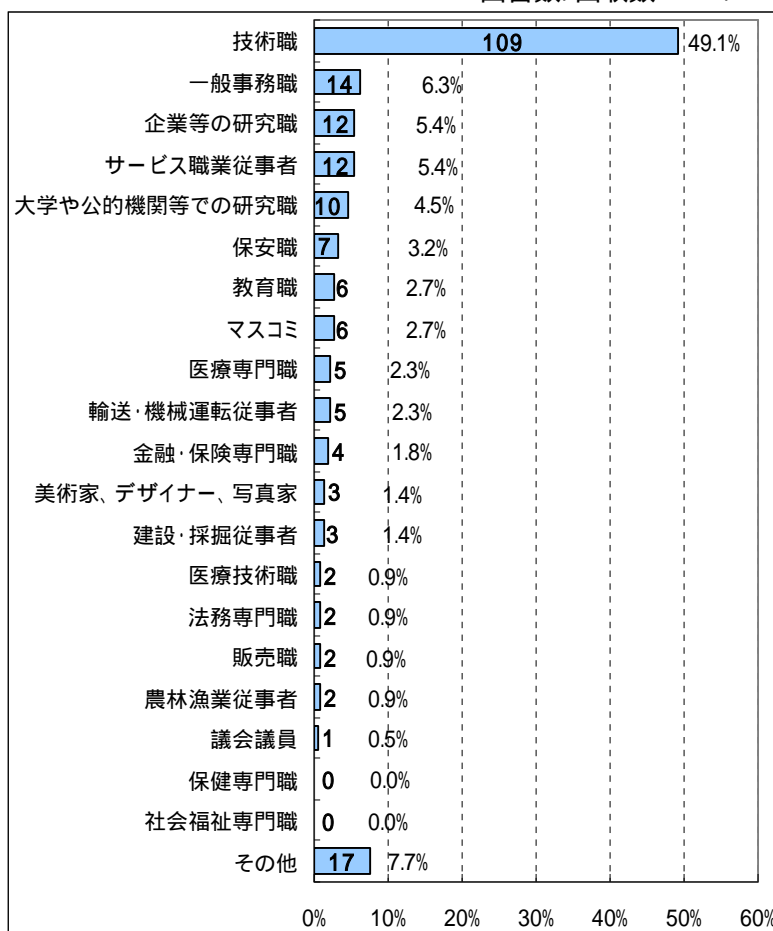
<集計結果>

「技術職」が49.1%と最も高く、全体の約5割を占める結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「技術職」の割合は、男性(66.2%)が女性(26.6%)を大きく上回る結果となった。女性では「一般事務職」(15.6%)や「サービス職業従事者」(14.1%)が続く結果となった。

地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



希望する地域について、1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 228/247

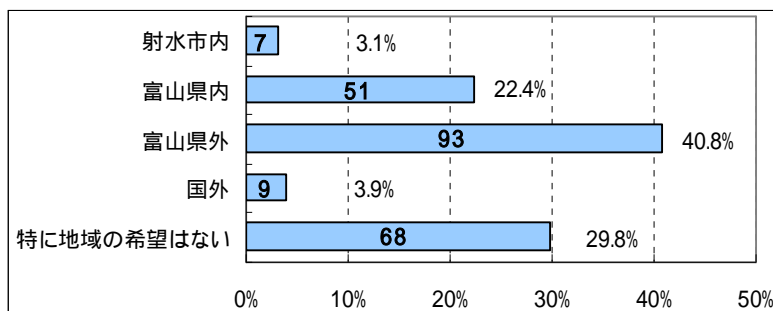
<集計結果>

「富山県外」が40.8%と最も高く、次いで「特に地域の希望はない」(29.8%)、「富山県内」(22.4%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「富山県内」の割合は女性(32.1%)が男性(17.8%)を上回る結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区と小杉地区では「富山県外」の割合がともに50.0%であり、射水市外(31.4%)より高い割合となった。



(6) 特に取り組んでほしい雇用対策は何ですか。次のうち、あてはまるものを2つまで選んで番号に印をつけてください。(MA)

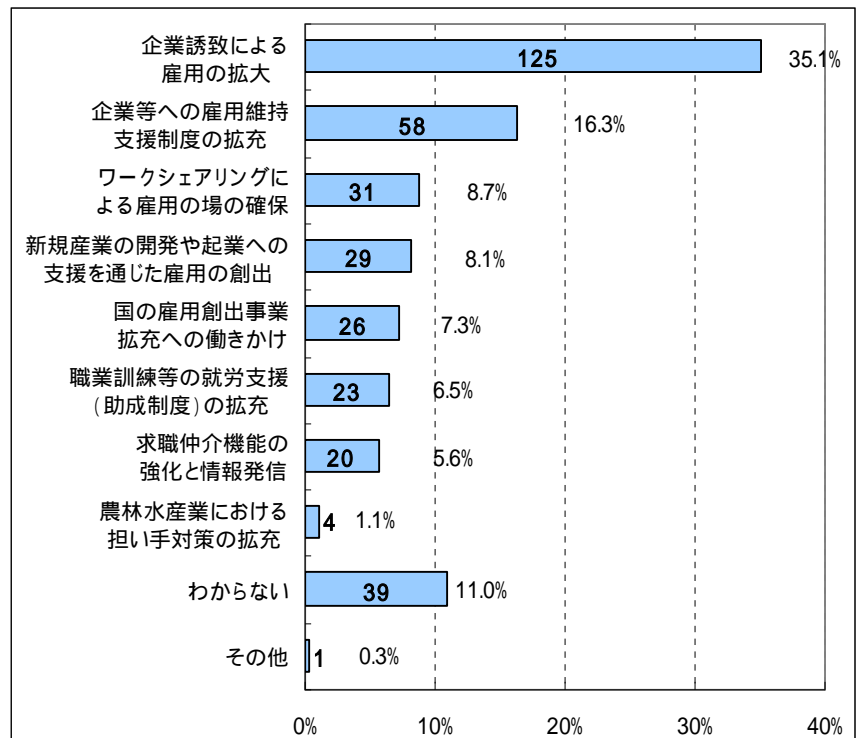
<集計結果>

「企業誘致による雇用の拡大」が35.1%と最も高く、次いで「企業等への雇用維持支援制度の拡充」(16.3%)、「わからない」(11.0%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 228/247



(7) 特に取り組んでほしい就労支援は何ですか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

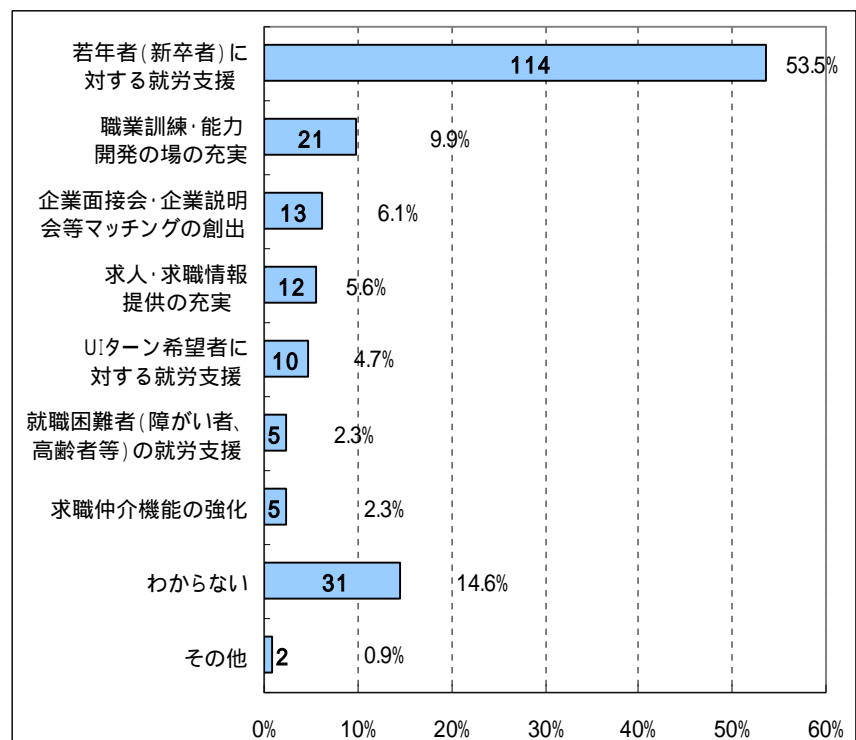
<集計結果>

「若年者(新卒者)に対する就労支援」が53.5%と最も高く、次いで「わからない」(14.6%)、「職業訓練・能力開発の場の充実」(9.9%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 213/247



問13 家族観（将来の理想的な生活）について

（1）あなたは、少子化対策に有効な取組は何だと思えますか。次のうち、あてはまるものを2つ選んで番号に 印をつけてください。（MA）

<集計結果>

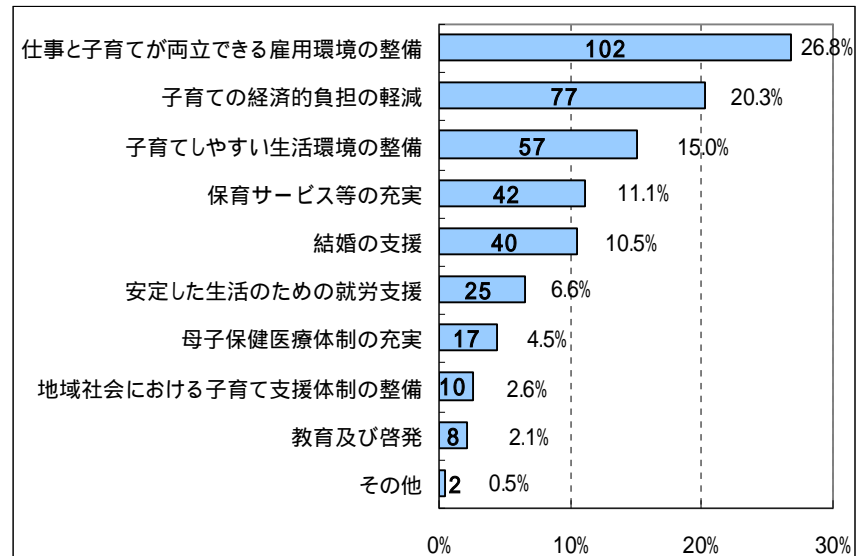
「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」が26.8%と最も高く、次いで「子育ての経済的負担の軽減」（20.3%）、「子育てしやすい生活環境の整備」（15.0%）、「保育サービス等の充実」（11.1%）、「結婚の支援」（10.5%）と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「子育てしやすい生活環境の整備」が23.1%で最も高くなり、小杉地区と射水市外では「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」が小杉地区で28.6%、射水市外で27.2%と、それぞれ最も割合が高くなった。

回答数/回収数 190/247



（2）あなたは、結婚についてどのように思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。（SA）

<集計結果>

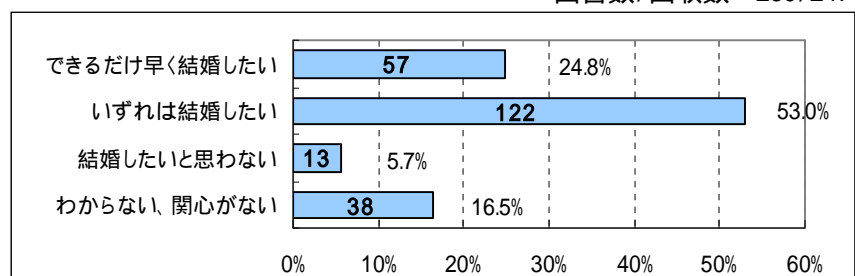
「いずれは結婚したい」が53.0%と最も高く、次いで「できるだけ早く結婚したい」（24.8%）、「わからない、関心がない」（16.5%）と続く結果となった。

「できるだけ早く結婚したい」と「いずれは結婚したい」を合わせた割合は77.8%であり、約8割が結婚したい意向であることがうかがえる。

<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

回答数/回収数 230/247



(3) あなたは、子どもをもつことについてどのように思いますか。次のうち、あてはまるものを2つまで選んで番号に 印をつけてください。(MA)

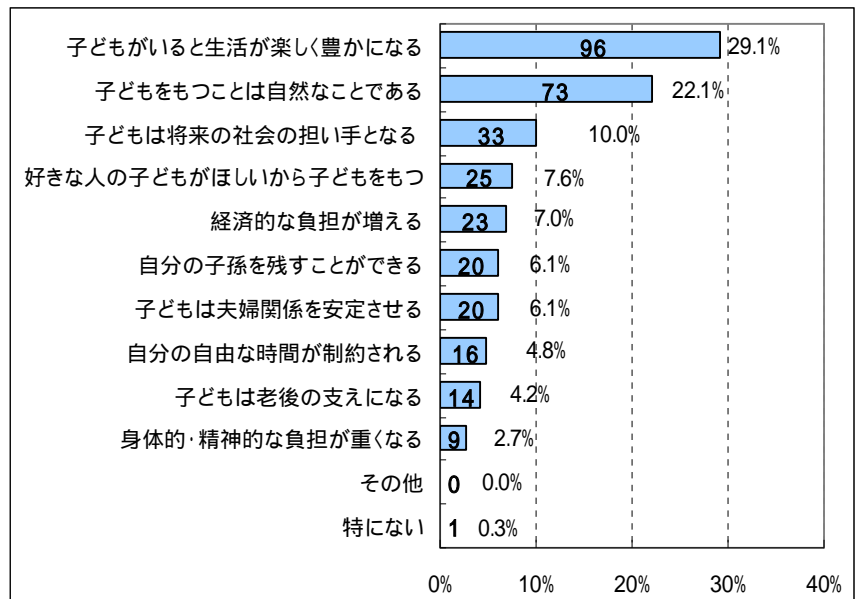
回答数/回収数 165/247

<集計結果>

「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」が29.1%と最も高く、次いで「子どもをもつことは自然なことである」(22.1%)、「子どもは将来の社会の担い手となる」(10.0%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



(4) あなたは、将来子どもを何人ほしいですか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

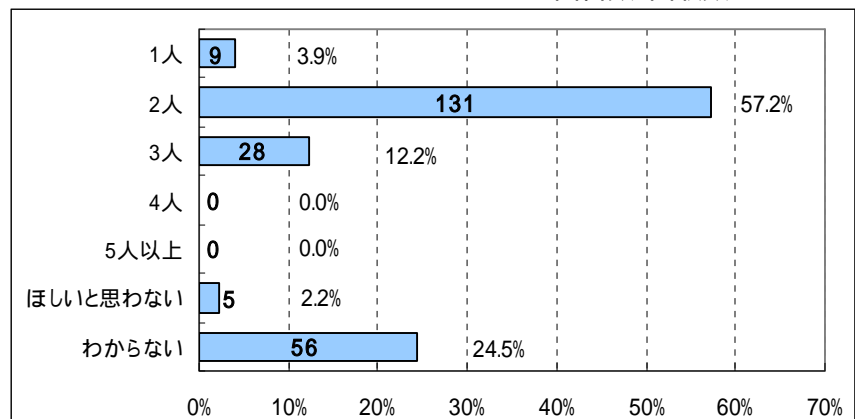
回答数/回収数 229/247

<集計結果>

「2人」が57.2%と最も高く、次いで「わからない」(24.5%)、「3人」(12.2%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



(5) 家庭における男女の役割分担について、あなたの理想に近い考え方はどれですか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

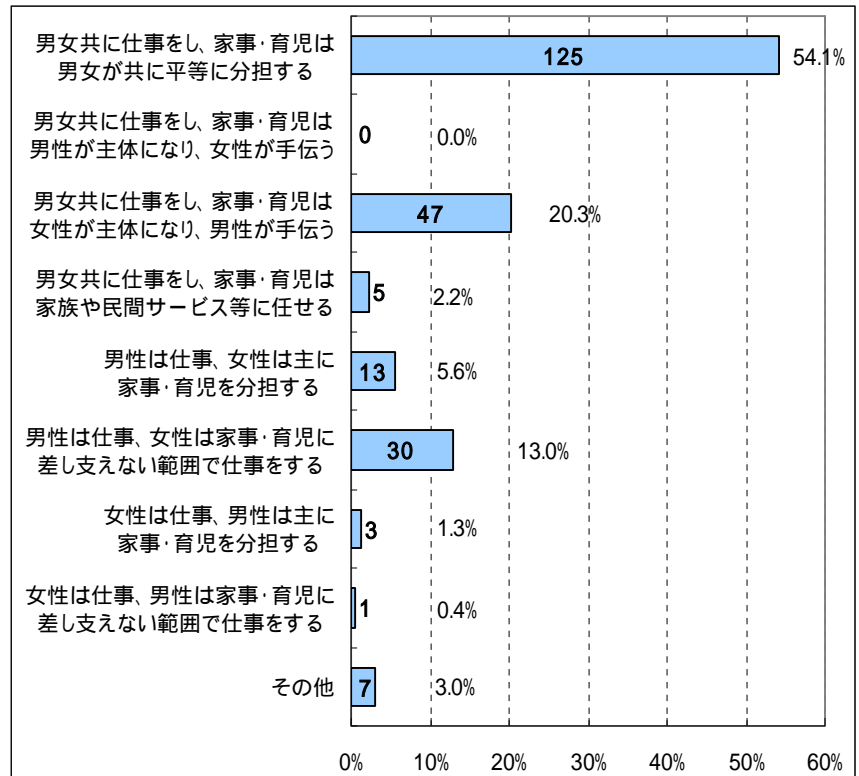
回答数/回収数 231/247

<集計結果>

「男女共に仕事をし、家事・育児は男女が共に平等に分担する」が54.1%と最も高く、次いで「男女共に仕事をし、家事・育児は女性が主体になり、男性が手伝う」(20.3%)、「男性は仕事、女性は家事・育児に差し支えない範囲で仕事をする」(13.0%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

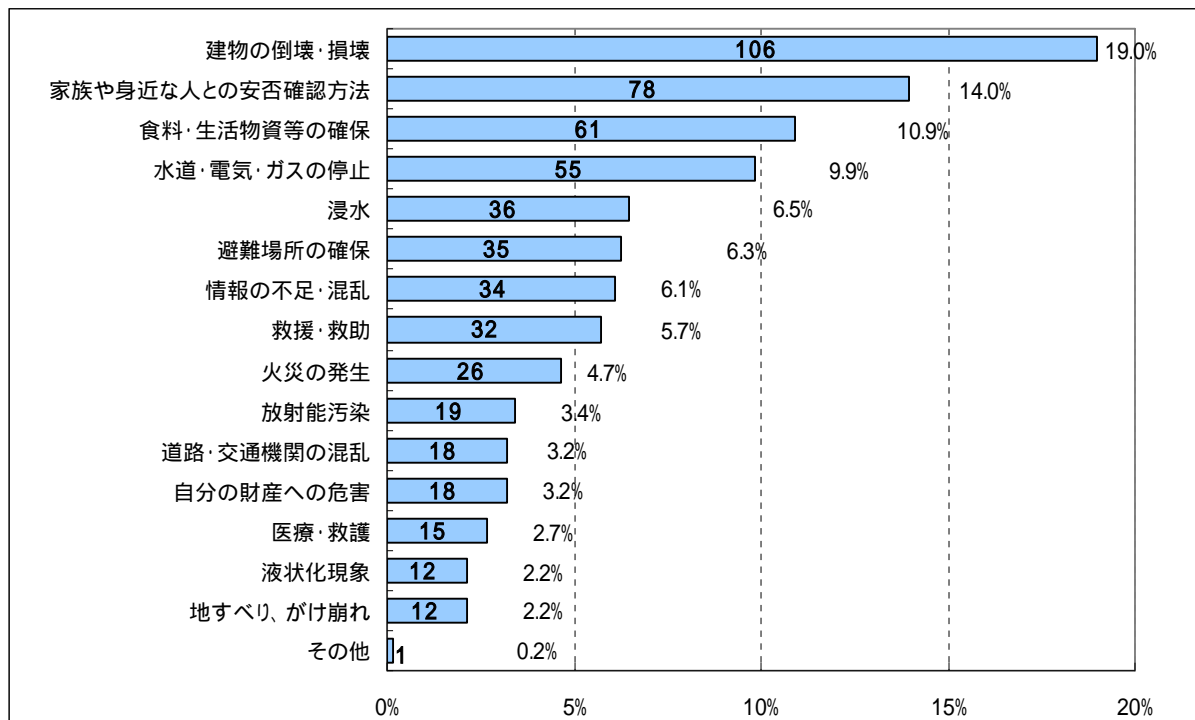


6. 主要課題への意向

問14 災害（防災対策、危機管理への対応）について

（1）大規模な災害が発生した場合、あなたが特に心配することは何ですか。次のうち、あてはまるものを3つ選んで番号に 印をつけてください。（MA）

回答数/回収数 186/247



< 集計結果 >

「建物の倒壊・損壊」が 19.0%と最も高く、次いで「家族や身近な人との安否確認方法」(14.0%)、「食料・生活物資等の確保」(10.9%)と続く結果となった。

< 一般向け調査との比較 >

一般向け調査における同様の質問（問10 - ）と比較すると、「建物の倒壊・損壊」の割合が若者（19.0%）、一般（18.2%）ともに第1位であるなど、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

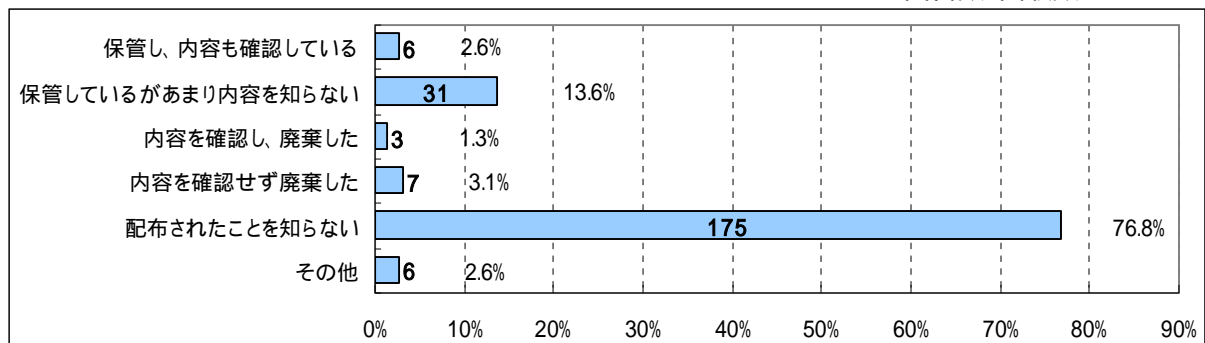
< 属性による比較 >

性別で集計すると、男性は「建物の倒壊・損壊」が20.1%で最も高く、次いで「食料・生活物資等の確保」(12.4%)、「家族や身近な人との安否確認方法」(11.6%)と続く結果となり、女性は「建物の倒壊・損壊」と「家族や身近な人との安否確認方法」がともに17.7%で最も高く、次いで「避難場所の確保」(10.9%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「浸水」が新湊地区で13.0%、小杉地区で4.6%、射水市外で6.2%であり、新湊地区での「浸水」に対する不安の高さがうかがえる結果となった。

(2) 市では、これまで防災ガイドブック、洪水ハザードマップや地震防災マップなどを全戸配布していますが、保管していますか。また、内容を確認していますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 228/247



< 集計結果 >

「配布されたことを知らない」が76.8%と最も高く、次いで「保管しているがあまり内容を知らない」(13.6%)と続く結果となった。

< 一般向け調査との比較 >

一般向け調査における同様の質問(問10 -)と比較すると、「配布されたことを知らない」割合は、若者(76.8%)が一般(23.8%)を大きく上回っている。

< 属性による比較 >

性別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「配布されたことを知らない」割合は、新湊地区が92.9%、小杉地区が68.5%、射水市外が79.0%であった。

(3) あなたは、自分が住んでいる地域の避難所を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<集計結果>

「知らない」が55.4%であり、「知っている」(44.6%)より高い割合となった。

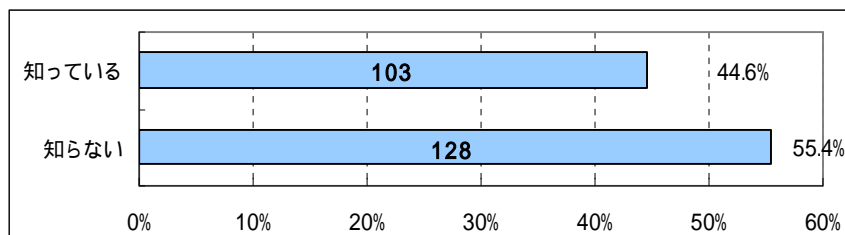
<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問10-)と比較すると、「知っている」割合は、若者(44.6%)が一般(71.2%)を大きく下回っている。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性では「知っている」が34.0%、「知らない」が66.0%であるのに対し、女性では「知っている」が64.6%、「知らない」が35.4%と、逆の結果となっている。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、新湊地区では「知っている」と「知らない」がともに50%であった。小杉地区では「知っている」が23.6%、「知らない」が76.4%であった。また、射水市外では「知っている」が61.2%、「知らない」が38.8%であった。



(4) あなたは、これまで市、地域振興会、自治会、自主防災組織等が開催している防災訓練に参加したことがありますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<集計結果>

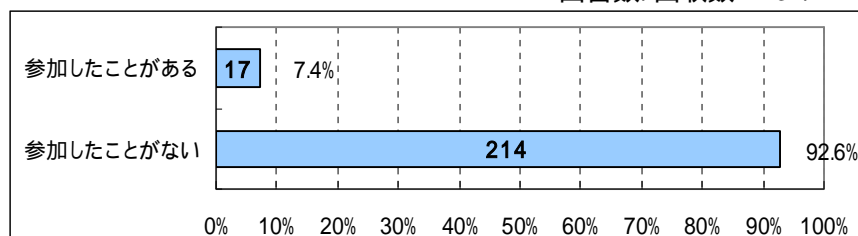
「参加したことがない」が92.6%であり、「参加したことがある」(7.4%)より非常に高い割合となった。

<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問10-)と比較すると、「参加したことがある」割合は、若者(7.4%)が一般(39.0%)を大きく下回っている。

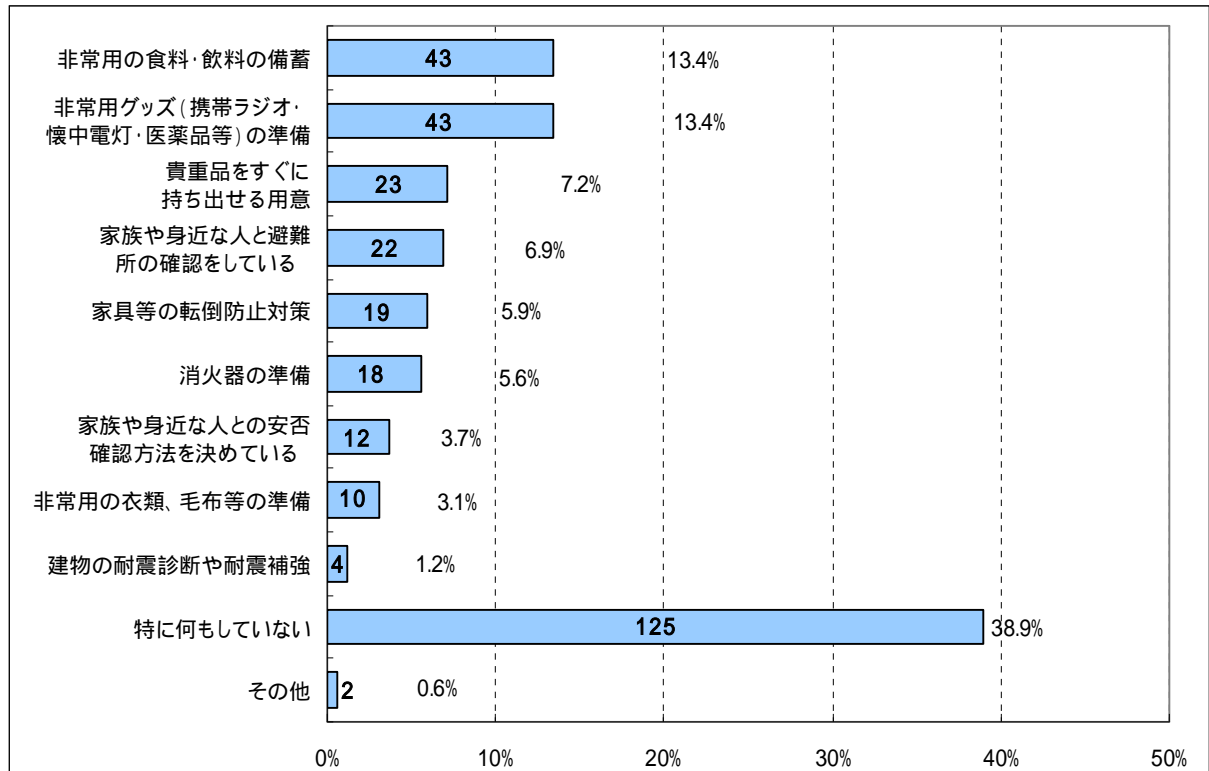
<属性による比較>

性別、地区別で集計すると、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



(5) あなたが行っている災害に対する備えについて、あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 230/247



< 集計結果 >

「特になにもしていない」が38.9%と最も高く、次いで「非常用の食料・飲料の備蓄」、「非常用グッズ(携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品等)の準備」(ともに13.4%)と続く結果となった。

< 一般向け調査との比較 >

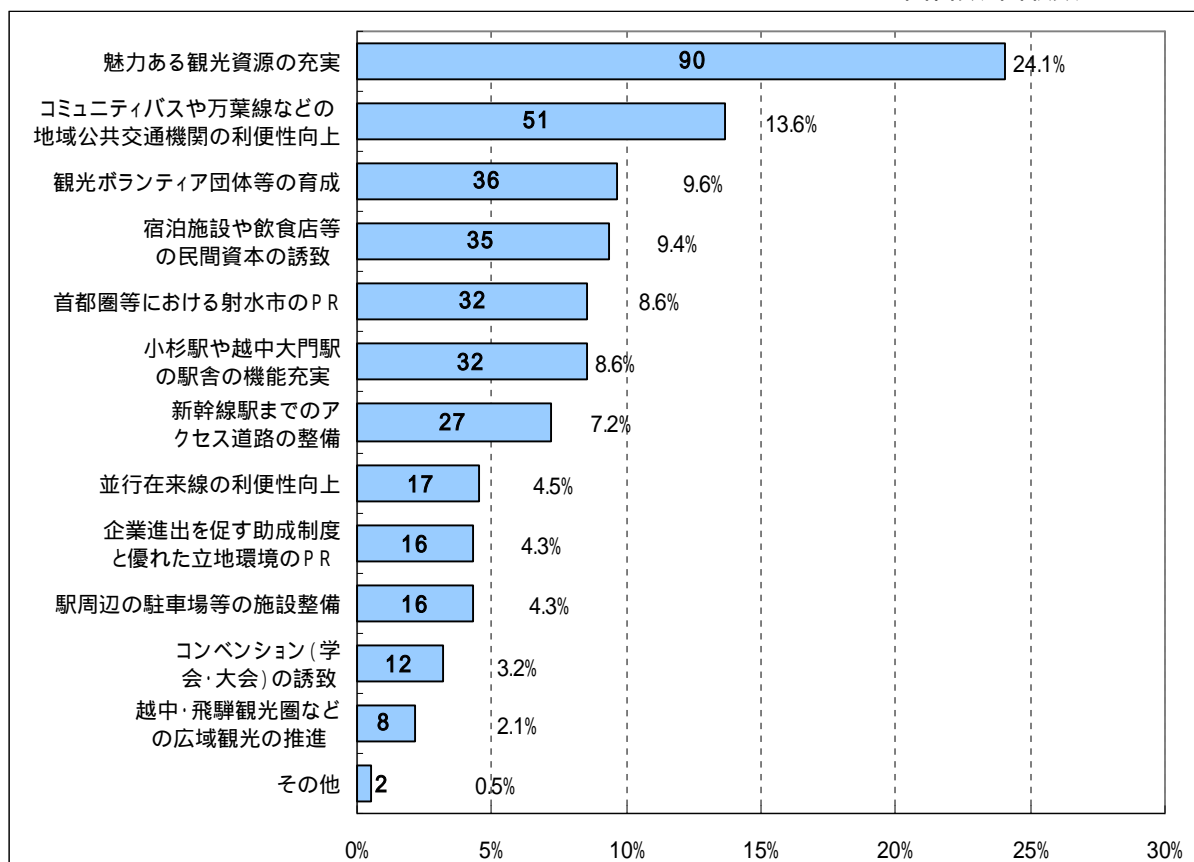
一般向け調査における同様の質問(問10-)と比較すると、「特になにもしていない」割合は、若者(38.9%)が一般(18.1%)を大きく上回っている。

< 属性による比較 >

性別、地区別ともに、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

問 1 5 北陸新幹線の開業が平成 2 6 年度末までに予定されています。射水市では、観光振興や商業の振興等、他分野において好機であると捉えられますが、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次のうち、あてはまるものを 2 つ選んで番号に 印をつけてください。(MA)

回答数/回収数 187/247



< 集計結果 >

「魅力ある観光資源の充実」が 24.1%と最も高く、次いで「コミュニティバスや万葉線などの地域公共交通機関の利便性向上」(13.6%)、「観光ボランティア団体等の育成」(9.6%)と続く結果となった。

< 一般向け調査との比較 >

一般向け調査における同様の質問(問 1 1)と比較すると、「魅力ある観光資源の充実」の割合が若者(24.1%)、一般(16.5%)ともに第 1 位であった。

< 属性による比較 >

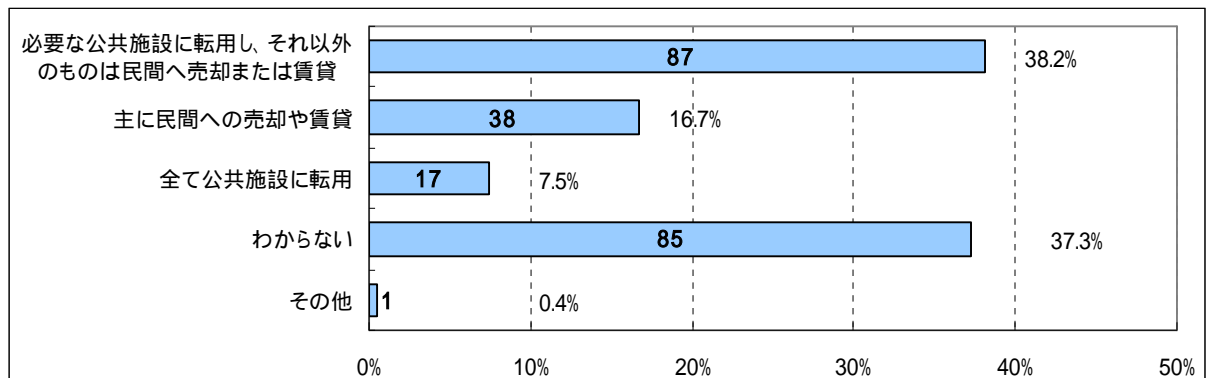
性別で集計すると、男性では「魅力ある観光資源の充実」が 24.6%で最も高く、次いで「観光ボランティア団体等の育成」(11.0%)、「首都圏等における射水市のPR」、「宿泊施設や飲食店等の民間資本の誘致」(ともに 10.2%)と続き、女性では「コミュニティバスや万葉線などの地域公共交通機関の利便性向上」が 23.5%で最も高く、次いで「魅力ある観光資源の充実」(22.0%)、「新幹線駅までのアクセス道路の整備」(8.3%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、小杉地区では「小杉駅や越中大門駅の駅舎の機能充実」(12.0%)及び「新幹線駅までのアクセス道路の整備」(10.6%)が他の地区より高い割合となった。

問16 跡地等の利活用について

(1) どのような方法で利活用すべきだと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つ選んで番号に印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 228/247



<集計結果>

「必要な公共施設に転用し、それ以外のは民間へ売却または賃貸」が38.2%と最も高く、次いで「わからない」(37.3%)、「主に民間への売却や賃貸」(16.7%)、「全て公共施設に転用」(7.5%)となった。

<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問13-)と比較すると、ともに第1位となった「必要な公共施設に転用し、それ以外のは民間へ売却または賃貸」の割合は、若者(38.2%)が一般(65.8%)を下回っている。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性では「わからない」が39.0%で最も高く、次いで「必要な公共施設に転用し、それ以外のは民間へ売却または賃貸」(32.9%)と続く結果となり、女性では「公共施設に転用し、それ以外のは民間へ売却または賃貸」が46.8%で最も高く、次いで「わからない」35.1%と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、小杉地区では「主に民間への売却や賃貸」の割合が25.0%であり、新湊地区(10.7%)、射水市外(11.8%)より高くなっている。

(2) 跡地や跡施設を利活用するにあたって、どのような施設や用途が望ましいと思いますか。具体的に記入ください。(FA)

回収した調査票 247 通のうち、90 名の方から自由意見の回答があった。

形態素解析の手法を用い、各回答から、望まれる施設や用途に関する単語の出現頻度を解析し、分野別に区分すると以下のとおりとなる。

商業施設・・・・・・・・13 件

「商業施設」、「ショッピングセンター」、「ショッピングモール」、「アウトレット」などに関する回答があった。

子ども・子育てに関する施設・・・・・・・・13 件

「子育て支援」、「子ども」に関する施設や「保育園」などに関する回答があった。

スポーツ・健康増進施設・・・・・・・・11 件

「スポーツ施設」、「スポーツ広場」、「体育館」といった機能を限定しない意見や、「プール」、「ジム」、「室内運動施設」などに関する回答があった。

公共施設・・・・・・・・7 件

「図書館」、「公民館」などに関する回答があった。

遊興施設・・・・・・・・7 件

「娯楽施設」、「アミューズメント施設」などに関する回答があった。

学びの場・・・・・・・・5 件

「勉強会」ができる場所、「学習スペース」、「勉強」スペースなど、学生が学べる場に関する回答があった。

高齢者福祉施設・・・・・・・・4 件

「老人ホーム」、「老人介護施設」などに関する回答があった。

その他

民間活用やニーズにあった整備を求める意見や、医療施設に関する回答がみられた。

問17 「食」と健康について

(1) あなたは、朝食を食べていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。
(SA)

<集計結果>

「毎日食べている」が65.8%と最も高く、次いで「週に3～4回食べている」(16.0%)、「ほとんど食べない」(12.1%)、「週に1～2回食べている」(6.1%)となった。

<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問14-)と比較すると、「毎日食べている」の割合は、若者(65.8%)が一般(88.5%)を下回っている。

<属性による比較>

性別で集計すると、「毎日食べている」の割合は、女性(73.4%)が男性(63.3%)を上回っている。地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「毎日食べている」の割合は、射水市外(77.7%)が新湊地区(71.4%)、小杉地区(52.8%)を上回っている。

(2)(1)で「2(週に3～4回食べている)」「3(週に1～2回食べている)」「4(ほとんど食べない)」と答えた方お聞きします。朝食を食べない理由をすべて選んで番号に 印をつけてください。
(MA)【限定設問】

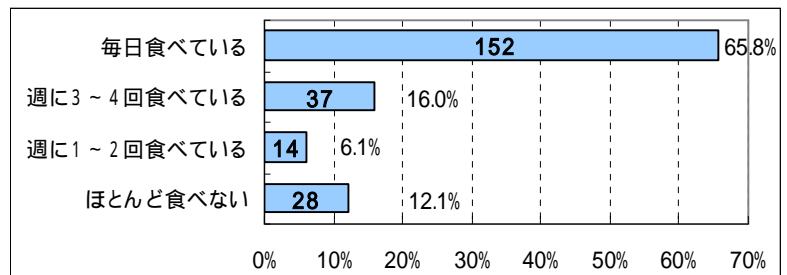
<集計結果>

「時間がないから」が60.6%と最も高く、次いで「食欲がないから」(12.8%)、「作っていない・作るのが面倒」(10.6%)、「食べる習慣がない」(ともに10.6%)と続く結果となった。

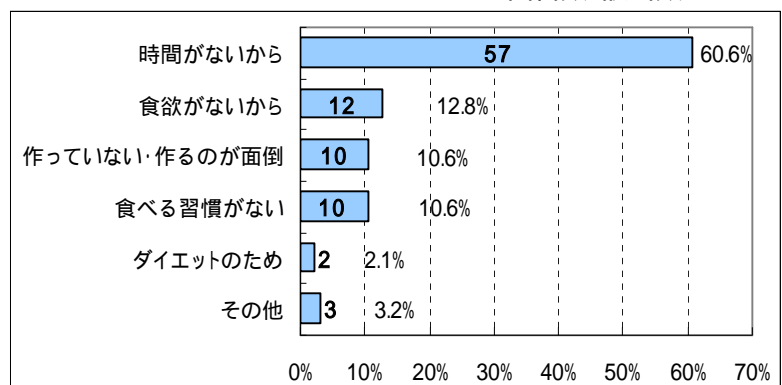
<属性による比較>

性別で見ると、「食欲がないから」の割合は、女性(25.0%)が男性(8.3%)を大きく上回っている。

回答数/回収数 231/247



回答数/該当数 79/79



(3) あなたは、こま型の「食事バランスガイド」について知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 229/247

<集計結果>

「内容を知っている」が45.4%と最も高く、次いで「見たことはあるが、内容は知らない」(40.6%)、「知らない」(14.0%)となった。

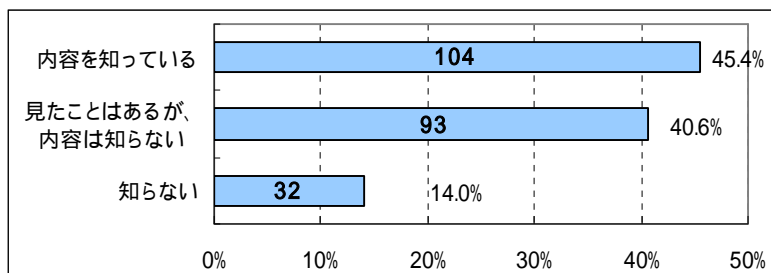
<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問14-)と比較すると、「内容を知っている」割合は、若者(45.4%)が一般(35.8%)を上回っている。

<属性による比較>

性別で集計すると、「内容を知っている」割合は、女性(61.5%)が男性(36.7%)を大きく上回っている。「知らない」割合は、女性(5.1%)が男性(18.4%)を下回っており、女性がより食事バランスガイドを認知していることがうかがえる。

地区別では、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。



(4) あなたは、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<本年度結果>

「内容を知っている」が68.8%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」(26.8%)、「知らない」(4.3%)となった。

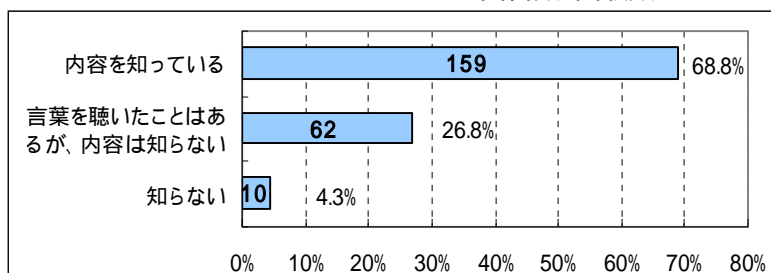
<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問14-)と比較すると、「内容を知っている」割合は、若者(68.8%)が一般(76.7%)を下回っている。

<属性による比較>

性別でみると、「内容を知っている」割合は、女性(77.2%)が男性(63.9%)を上回る結果となった。

地区別では、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

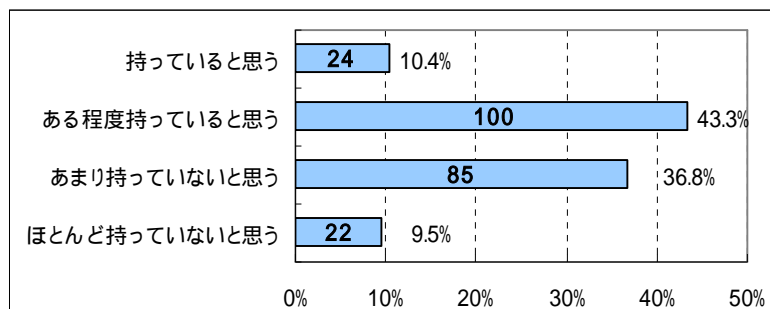


(5) あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていると思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<集計結果>

「ある程度持っていると思う」が43.3%と最も高く、次いで「あまり持っていないと思う」(36.8%)、「持っていると思う」(10.4%)、「ほとんど持っていないと思う」(9.5%)となった。



<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問(問14-)と比較すると、「持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、若者(53.7%)が一般(73.6%)を下回っている。

<属性による比較>

性別で集計すると、「持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、女性(62.1%)が男性(49.0%)を大きく上回っている。

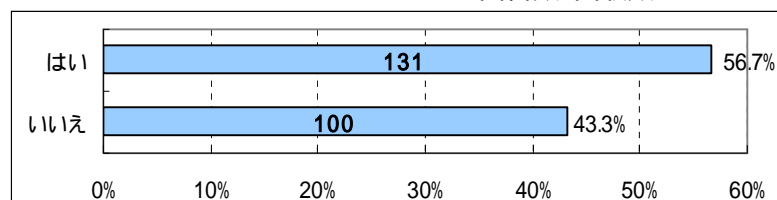
地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、新湊地区(64.3%)が小杉地区(48.3%)、射水市外(55.3%)を上回っている。

(6) あなたは、あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまる番号に 印をつけてください。(SA)

回答数/回収数 231/247

<集計結果>

「はい」が56.7%と、「いいえ」(43.3%)より高い割合となった。



<一般向け調査との比較>

一般向け調査における同様の質問

(問14-)と比較すると、「はい」の割合は、若者(56.7%)が一般(79.5%)を下回っている。

<属性による比較>

性別、地区別では、全体の傾向に大きな違いはみられなかった。

(7)(6)で「はい」と答えた方にお聞きします。「食育」に関心がある理由をすべて選んで番号に印をつけてください。(MA)【限定設問】

<集計結果>

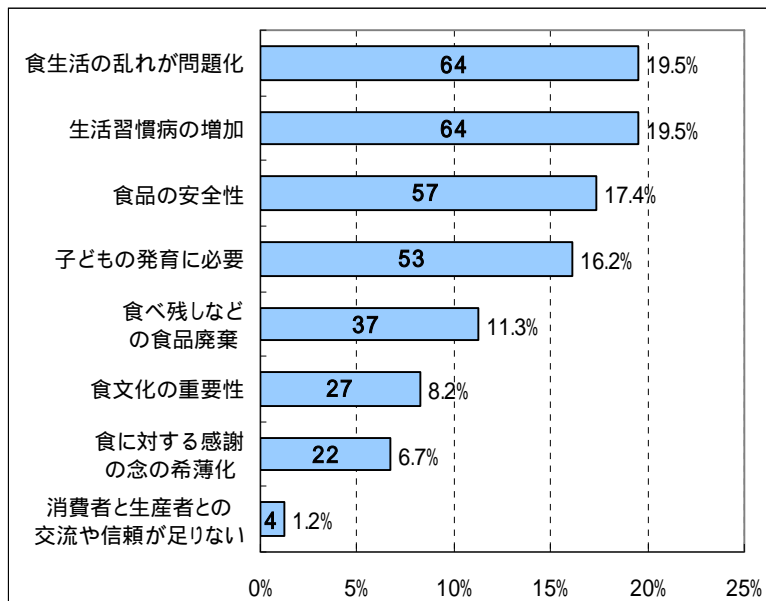
「食生活の乱れが問題化」と「生活習慣病の増加」がそれぞれ19.5%と最も高く、次いで「食品の安全性」(17.4%)、「子どもの発育に必要」(16.2%)、「食べ残しなどの食品廃棄」(11.3%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、男性では「食生活の乱れが問題化」が22.5%で最も高く、次いで「生活習慣病の増加」(19.6%)、「子どもの発育に必要」(18.6%)と続き、女性では「食品の安全性」が20.8%で最も高く、次いで「生活習慣病の増加」(19.2%)、「食生活の乱れが問題化」、「食べ残しなどの食品廃棄」(ともに14.2%)と続く結果となった。

地区別で、一定数のサンプルが得られた新湊地区、小杉地区及び射水市外について集計すると、「食生活の乱れが問題化」の割合は、小杉地区が27.0%と、新湊地区(12.8%)や射水市外(16.6%)を上回っている。

回答数/該当数 129/131



(8)(6)で「いいえ」と答えた方にお聞きします。「食育」に関心がない理由をすべて選んで番号に印をつけてください。(MA)【限定設問】

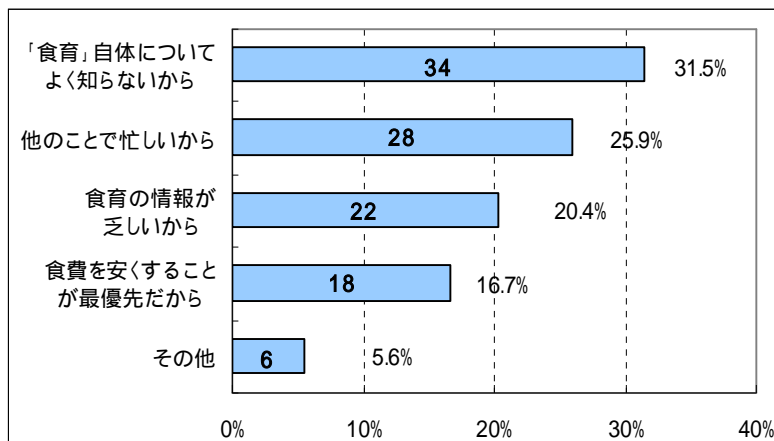
<集計結果>

「食育」自体についてよく知らないから」が31.5%と最も高く、次いで「他のことで忙しいから」(25.9%)、「食育の情報が乏しいから」(20.4%)、「食費を安くすることが最優先だから」(16.7%)と続く結果となった。

<属性による比較>

性別で集計すると、「食費を安くすることが最優先だから」の割合は、男性(21.2%)が女性(8.1%)を上回っている。

回答数/該当数 95/100



7. 自由意見

問18 今後の市政に対するご意見をご自由に記入ください。

調査票 247 通のうち、37 名の方から自由意見の回答があった。各意見の趣旨を整理し、分野別に区分すると以下のとおりとなる。

交通・・・(15件)

コミュニティバスやJRの利便性に関する意見が多くみられたほか、道路の整備などに関する意見があった。

市政・・・(14件)

射水市政に関する意見が多かったほか、多くの人から意見を取り入れることに関する意見、活性化に繋がるイベントの実施などに関する意見があった。

産業・雇用・観光・・・(4件)

ファッションなどの商業施設の充実や、海王丸の活用などに関する意見があった。

その他・・・・・・(8件)

祭りに関する意見などがみられた。

